

平成 2 7 年度

教育に関する事務の管理及び
執行状況の点検・評価報告書

浅口市教育委員会

目 次

教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価について	1
1 経 緯	1
2 目 的	1
3 点検・評価の対象及び方法等	1
4 学識経験者による知見の活用	2
5 浅口市教育行政における事務の管理及び執行状況の点検・評価の概要	3
6 点検・評価シートの作成	4
7 事務局、教育機関の機構	5
教育委員会の活動状況	6
1 教育委員会議の開催状況	6
2 教育委員名簿	6
3 平成27年度教育委員会議の開催状況	6
4 教育委員会の学校訪問	8
5 教育委員会議以外の活動状況	8
点検・評価の結果	11
基本方針1「健やかな心を育む学校教育の充実」	11
基本事業【 学校教育の充実 】	11
1 確かな学力向上の推進	11
2 心の教育の推進	12
3 体育・健康教育の充実	15
4 人権教育の推進	16
5 特別支援教育の充実	17
6 教職員の適正な配置と人事管理	18
7 開かれた学校づくり	19
基本事業【 学校施設の整備充実 】	21
8 学習環境の整備・充実	21
基本方針2「豊かな人生を育む生涯学習の充実」	23
基本事業【 生涯学習の充実 】	23
1 生涯学習のまちづくり事業の推進	23
2 公民館活動の推進	23
3 図書館活動の推進	24
4 広報・啓発活動	24
基本事業【 生涯学習施設の整備 】	26
5 社会教育施設の整備・充実	26
6 青少年健全育成の推進	26
7 家庭教育の推進	27
8 学校、家庭、地域との連携による教育力の充実	27

9 子ども読書活動の推進	28
基本方針3「スポーツ活動の振興」	29
基本事業【スポーツ・レクリエーション施設の整備・充実】	29
1 社会体育施設の整備・充実	29
基本事業【スポーツ活動の振興】	30
2 社会体育の振興	30
基本方針4「文化の薫る地域の振興」	32
基本事業【文化施設の整備・充実】	32
1 かもがた町家公園の円滑な管理・運営	32
2 岡山天文博物館の円滑な管理・運営	33
3 阿藤伯海記念公園の円滑な管理・運営	34
基本事業【歴史・文化的資源の保全・活用】	37
4 文化財の保護・保存・公開・普及活動	37
基本事業【文化・芸術活動の振興】	40
5 芸術文化活動の普及と振興	40
基本方針5「グローバルな感性を育む国際交流・理解」	42
基本事業【国際交流の推進】	42
1 姉妹都市（豪州・ティツリガリ市）友好提携都市（中国・高安市）との交流	42
2 交流を通しての国際理解	42
基本事業【国際的に活躍できる青少年の育成】	44
3 コミュニケーション能力の向上	44
基本方針6「人権の尊重・男女共同参画社会の確立」	46
基本事業【人権啓発、人権教育の推進】	46
1 人権教育の推進	46
2 人権啓発・教育の指導者・リーダーの養成	46
基本事業【男女共同参画社会の確立】	48
3 男女共同参画促進のための事業推進	48
基本方針7「安心できる子育て支援の促進」	49
基本事業【特別保育事業の充実】	49
1 子育て環境の整備・充実	49
基本事業【保育サービスの充実】	50
2 子育て環境の設備・充実	50
基本事業【預かり保育、放課後児童健全育成事業の充実】	52
3 預かり保育の充実	52
4 放課後児童クラブの充実	52
基本事業【遊び・交流の場の整備・充実】	54
5 遊び・交流の場の整備・充実	54

浅口市教育委員会評価委員の総合評価(平成27年度事業分).....	55
-----------------------------------	----

資料

【資料1】平成27年度 園児・児童・生徒数(5月1日現在).....	61
【資料2】平成27年度 学校・園及び教職員の研修一覧.....	62
【資料3】平成27年度 教育委員会関係施設等の利用者数等一覧.....	64
【資料4】平成27年度 生涯学習・社会教育事業及び公民館事業の実績.....	65

教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価について

1 経緯

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」(以下「地教行法」という。)の一部改正により、平成20年4月から、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表しなければならないこととされました。

この改正法の規定に基づき、浅口市教育委員会が行った諸事業について、点検及び評価の結果について報告書にまとめるものです。

2 目的

地教行法の規定に基づき、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況について、教育委員会が点検・評価し、その結果を議会に報告するとともに市民に公表することとしました。

この点検・評価は、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民に対する行政の説明責任を果たしていくことを目的としています。

3 点検・評価の対象及び方法等

(1) 対象

- ア 浅口市教育委員会の運営状況
- イ 浅口市教育委員会が管理・執行する事務
- ウ 「浅口市教育行政の基本方針」に掲げている主要施策の取組状況

(2) 方法

平成27年度における各事業の達成状況の把握を参考として、その取組状況について点検・評価を実施します。

(3) 報告

- ・時期 浅口市議会9月定例会
- ・報告の場 総務文教常任委員会

(4) 公表

- ・浅口市ホームページ及び教育委員会事務局等での閲覧

4 学識経験者による知見の活用

点検・評価にあたっては、地教行法第26条第2項の規定により教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図ることとされたため、浅口市教育委員会評価委員から意見を聴取いたしました。

浅口市教育委員会評価委員（平成28年度）

番号	氏名	所属	備考
1	金光英子	金光図書館長	
2	貝畑正己	元中学校長	
3	佐藤賢次	社会教育委員	

【参考】 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抄）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

5 浅口市教育行政における事務の管理及び執行状況の点検・評価の概要

(1) 教育委員会の運営状況

評価項目	評価内容
ア 教育委員会の会議の運営	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会定例会の開催回数 ・教育委員会臨時会の開催回数
イ 教育委員の研修等	<ul style="list-style-type: none"> ・研修等の参加状況

(2) 教育委員会が管理及び執行する事務

評価項目	評価内容
ア 教育行政の運営に関する基本方針	<ul style="list-style-type: none"> ・基本方針の策定
イ 規則等の改廃	<ul style="list-style-type: none"> ・条例、規則等の制定・改正等
ウ 議会の議決を経るべき議案	<ul style="list-style-type: none"> ・条例、予算等の議案
エ 教育関係予算	<ul style="list-style-type: none"> ・教育行政に関する当初及び補正予算
オ 教育委員会の所管に属する学校 その他の教育機関の設置又は廃止	<ul style="list-style-type: none"> ・設置又は廃止の状況
カ 職員の任命に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会事務局職員の人事異動等の状況
キ 教科用図書の採択の決定に関する こと	<ul style="list-style-type: none"> ・教科用図書の採択状況
ク その他	

6 点検・評価シートの作成

(1) 点検・評価項目

教育行政における教育委員会の活動状況、管理・執行する事務及び基本方針に掲げた基本事業について点検・評価します。

(2) 事業概要

点検・評価項目の基本事業について、その概要を記載します。

(3) 取組状況

点検・評価項目の基本事業について、目的を達成するための具体的な取り組み状況を記載します。

(4) 成果

実施した結果による成果について、具体的に記載します。

(5) 課題・方向性

今後の課題、改善点及び方向性について記載します。

(6) 自己評価

達成度や効果等について、評価を記載します。

(7) 評価委員の総合評価

外部委員の意見・評価を記載します。

(8) 評価指標

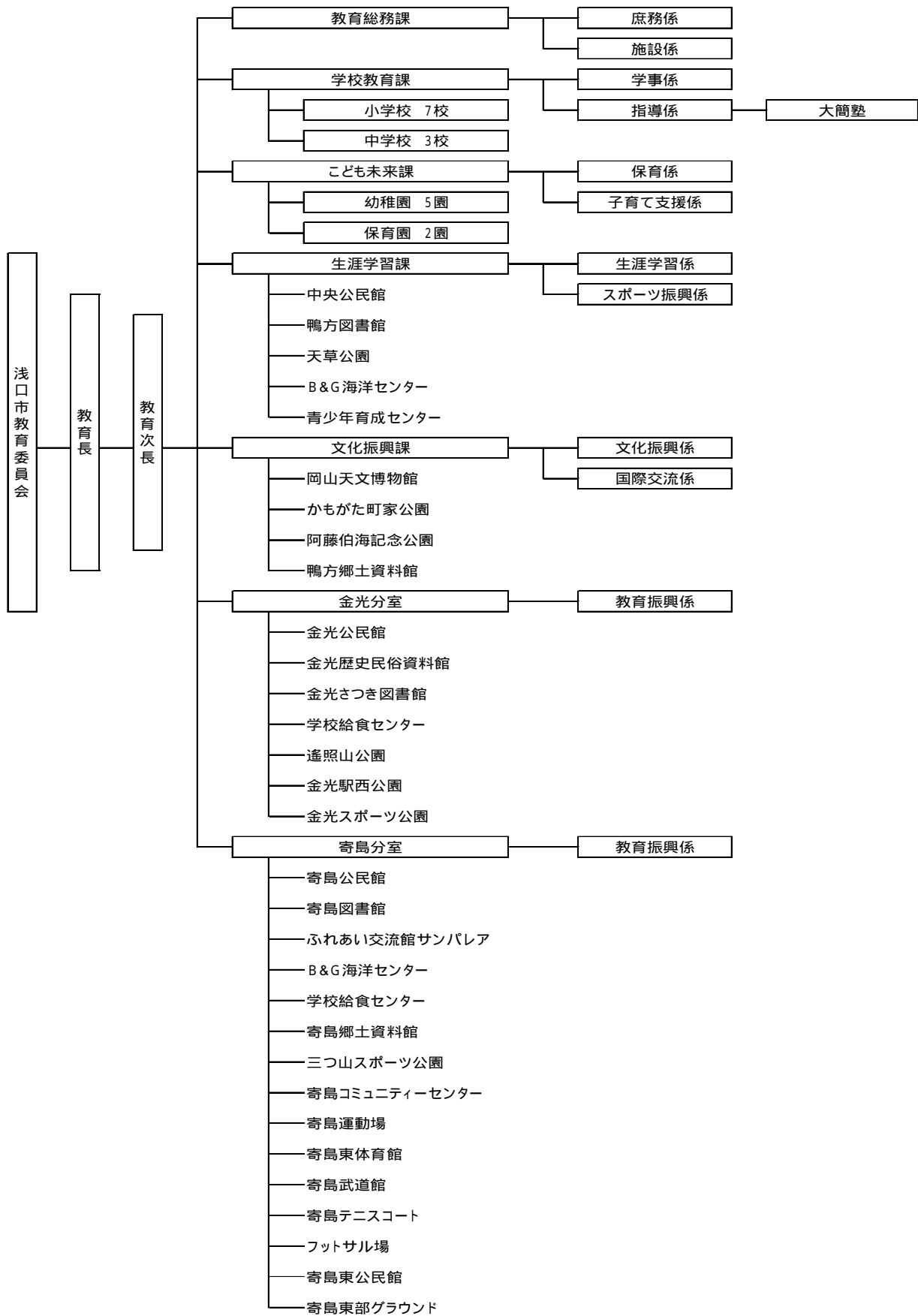
A：予定通り達成された。

B：概ね達成された。

C：やや達成できなかった。

D：達成できなかった。

7 事務局、教育機関の機構



教育委員会の活動状況

1 教育委員会議の開催状況

浅口市教育委員会の会議は原則として公開で、毎月1回の定例会のほか、必要に応じて臨時会を開催している。この会議では、5名の教育委員（教育長1名を含む）が、教育行政の運営の基本方針や教育委員会の規則の制定・改廃、教科用図書の採択、文化財の指定など、会議において議決を要する事項について審議・決定を行うとともに、教育に関する重要事項について事務局から報告等を受けている。

2 教育委員名簿（平成27年5月12日現在）

職名	氏名	委員就任年月日	任期満了年月日
委員長	山田 篤	平成25年5月12日	平成29年5月11日
職務代理者	藤井 徹	平成27年5月12日	平成31年5月11日
委員	原田 玲子	平成26年5月12日	平成30年5月11日
委員	中務 美保子	平成26年5月12日	平成30年5月11日
委員（教育長）	中野 留美	平成26年5月12日	平成28年5月11日

3 平成27年度教育委員会議の開催状況

	期日	場所	附議案件等
4月定例会	H27.4.30	中央公民館	・準要保護の認定について
5月定例会	H27.5.12	中央公民館	・教育委員会委員長の選挙について ・教育委員会委員長職務代理者の指定について ・準要保護の認定について
6月定例会	H27.6.25	中央公民館	・準要保護の認定について ・浅口市学校給食センター条例施行規則の制定について ・浅口市学校給食センター運営委員会規則の制定について ・浅口市学校給食センター運営規定の制定について ・浅口市私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱の一部を改正する告示について ・浅口市公民館運営審議会委員兼社会教育委員の委嘱について
7月定例会	H27.7.17	中央公民館	・準要保護の認定について ・中学校教科用図書の採択について ・浅口市学校給食センター条例等の施行に伴う関係規則の整備に関する規則について ・浅口市教育委員会事務決裁規程の一部を改正する訓令について ・浅口市立小・中学校、幼稚園の学校給食における食物アレルギー対策委員会設置要綱の一部を改正する告示について ・浅口市の就学前教育・保育のあり方について
8月定例会	H27.8.20	中央公民館	・準要保護の認定について ・教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価について

9月定例会	H27.9.30	中央公民館	<ul style="list-style-type: none"> ・準要保護の認定について ・浅口市立認定こども園園則の制定について ・浅口市立認定こども園評議員要綱の制定について ・浅口市保育所における保育の利用に関する規則の一部を改正する規則について ・浅口市立保育所条例施行規則の一部を改正する規則について ・浅口市立幼稚園園則の一部を改正する規則について ・浅口市立小・中学校、幼稚園の施設の開放に関する規則の一部を改正する規則について ・浅口市保育所、認定こども園及び家庭的保育事業等の利用調整に関する基準要綱の一部を改正する告示について
10月定例会	H27.10.16	中央公民館	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会議事録の公表について
11月定例会	H27.11.17	中央公民館	<ul style="list-style-type: none"> ・準要保護の認定について ・浅口市教育委員会会議規則の一部を改正する規則について ・浅口市学校管理規則の一部を改正する規則について ・浅口市B&G海洋センター条例施行規則の一部を改正する規則について
12月定例会	H27.12.18	中央公民館	<ul style="list-style-type: none"> ・浅口市教育委員会傍聴人規則の一部を改正する規則について ・浅口市教育委員会公印規則の一部を改正する規則について ・浅口市外国人英語教師就業規則の一部を改正する規則について ・浅口市子ども・子育て支援法施行細則の一部を改正する規則について ・浅口市立小・中学校、幼稚園の学校給食における食物アレルギー対策委員会設置要綱の一部を改正する告示について ・浅口市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の保育料減免取扱要綱の一部を改正する告示について ・浅口市教育委員会の権限に関する規定の一部を改正する訓令について
1月定例会	H28.1.28	中央公民館	<ul style="list-style-type: none"> ・準要保護の認定について ・浅口市立認定こども園一時預かり事業実施要綱の制定について ・浅口市学校給食センター条例施行規則の一部を改正する規則について ・浅口市適応指導教室事業実施要綱の一部を改正する告示について ・浅口市立保育所延長保育事業実施要綱の一部を改正する告示について ・浅口市子ども・子育て会議委員の委嘱について ・浅口市立図書館運営協議会委員の委嘱について ・給食費について
2月定例会	H28.2.25	中央公民館	<ul style="list-style-type: none"> ・準要保護の認定について ・浅口市私立認可保育所運営費補助金交付要綱の一部を改正する告示について ・浅口市文化財保護委員会委員の委嘱について
3月臨時会	H28.3.11	中央公民館	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会委員長職務代理者の指定について ・県費負担教職員人事異動の内申について
3月定例会	H28.3.18	中央公民館	<ul style="list-style-type: none"> ・準要保護の認定について ・教育委員会事務局職員の人事異動について ・浅口市教育委員会職員職名規則の一部を改正する規則について ・独立行政法人日本スポーツ振興センターの共済掛金の負担額を定める規則の一部を改正する規則について ・行政不服審査法の施行に伴う関係教育委員会規則の整備に関する規則について ・浅口市立認定こども園園則の一部を改正する規則について

			<ul style="list-style-type: none"> ・浅口市障害児保育事業補助金交付要綱の一部を改正する告示について ・平成 28 年度教育行政の基本方針について
--	--	--	--

4 教育委員会の学校訪問

時期	訪問先	概要
H27.6.25	金光竹小学校、金光吉備小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・授業参観、校長との懇談 ・学校給食の試食
H27.11.17	金光幼稚園・小学校・中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・授業参観、校長との懇談 ・学校給食の試食

5 教育委員会議以外の活動状況

教育委員は、教育委員会議に出席するほか、適宜、各種会議や行事に出席している。
平成 27 年度の、主な活動は次のとおりである。

時期	各種会議・関係行事	概要
H27.4	市立学校・園入学式	<ul style="list-style-type: none"> ・市立保育園 2 園、幼稚園 5 園、小学校 7 校、中学校 3 校
H27.4.24	岡山県都市教育委員会 教育長協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・第 1 回定例会 笠岡市民会館
H27.4.27	教育問題懇談会	<ul style="list-style-type: none"> ・岡山県総合教育センター
H27.4.30	第 1 回総合教育会議	<ul style="list-style-type: none"> ・中央公民館
H27.5.21 ~ 22	全国都市教育長協議会定期総会 並びに研究大会厚木大会	<ul style="list-style-type: none"> ・第 6 7 回総会、研究発表 厚木市文化会館
H27.7.3	岡山県市町村教育委員会 連絡協議会総会	<ul style="list-style-type: none"> ・役員会、総会 ライフパーク倉敷
H27.7.21	青少年海外派遣事業壮行式	<ul style="list-style-type: none"> ・中央公民館
H27.7.22	岡山教育事務所管内 教育長連絡会議	<ul style="list-style-type: none"> ・ピュアリティまきび
H27.7.23	第 10 回中国地区市町村教育委員会 連合会研修大会	<ul style="list-style-type: none"> ・倉敷アイビースクエア
H27.7.31	岡山県都市教育委員会 教育長協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・第 1 回臨時会 ピュアリティまきび

H27.9.16	青少年海外派遣事業報告会	・中央公民館
H27.10.8	岡山県教育長と市町村教育長との意見交換会	・岡山県立図書館
H27.10.9	岡山県都市教育委員会 教育長協議会	・第2回定例会 井原市役所
H27.10.14	市教育委員会先進地視察	・大阪府茨木市教育委員会 ・茨木市立北中学校
H27.10.16	第2回総合教育会議	・中央公民館
H27.10.21	岡山教育事務所管内 教育長連絡会議	・岡山教育事務所
H27.10.22	中国地区都市教育長会定期総会 並びに研究協議会	・せとうち児島ホテル
H27.10.28	鴨方東小学校研究発表会	・市指定
H27.11.10	浅口市中学生英語 スピーチコンテスト	・中央公民館
H27.11.12	岡山県市町村教育委員会 連絡協議会研修会	・くらしき健康福祉プラザ
H28.1.8	学力向上フォーラム	・中央公民館
H28.1.10	浅口市成人式	・ふれあい交流館「サンパレア」
H28.1.20	岡山県都市教育委員会 教育長協議会	・第3回定例会 総社市総合福祉センター
H28.2.2 ~3	岡山県都市教育長協議会 教育行政視察	・山口県防府市
H28.2.6	浅口市きらきら賞表彰式	・中央公民館
H28.3	市立学校・園卒業式	・市立保育園2園、幼稚園5園、 小学校7校、中学校3校

<p>成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定例や臨時の教育委員会議において、質疑応答や協議の時間を十分確保することで、教育委員会事務局における課題や取組等についても理解を深めることができた。また、会議後に自主研修の時間を設定するなどして、学校や地域、近隣市町村の動向等についても見識を深めることができた。 ・ 教育委員会の透明性・公平性を図るため、教育委員会議事録を市ホームページ上で公開することとした。 ・ 学力向上への取組の先進地である大阪府茨木市を訪問し、教育現場の現状や取組を把握するために茨木市立北中学校を視察した。また、同市教育委員会において、学力向上への取組事例について学んだ。 ・ 新たに設置された総合教育会議において、学力向上への取組や幼児教育の充実について、市長と積極的な意見交換を行い、教育行政の方向性を共有することができた。 ・ 厳粛な雰囲気の中で成人式典を執り行うことができ、青少年健全育成のための活動が継続的に行われている成果を実感することができた。
<p>課題・方向性</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教育委員相互の意見交換や教育委員会事務局からの説明聴取を積極的に行い、様々な教育課題について議論し、市としての方向性を定めていけるよう工夫したい。 ・ 調和の取れた教育行政を推進するために、教育委員の研修や教育関係行事への参加は重要である。年間を通して研修や行事へ参加し、教育行政に対する知識を深め、課題の把握や教育行政に対する意見・要望等の把握に努めていきたい。 ・ 研究発表会や学校行事はもちろん、計画的な学校・園訪問を継続して、授業を参観したり、学校・園長と懇談したりして、教育現場の実態把握に努め、市内の学校・園の実情を理解するとともに、具体的な指導・支援を講じていきたい。 ・ 総合教育会議を通じて、市長とより緊密に連携を図りながら、教育行政を推進していきたい。
<p>自己評価</p>	<p>自己評価 A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校訪問や学校行事、研究指定校の研究発表会をはじめ、生涯学習事業、文化振興事業、その他教育関係の行事にも積極的に参加して、市内教育関係事業の推進状況の実情把握に努めた。 ・ 教育委員会事務局からの報告や連絡を受けるだけでなく、事務局へ報告を求めるなど、積極的な姿勢で諸課題に対応することができた。引き続き事務局や教育現場に近い距離で、指導・支援を継続していきたい。 ・ 総合教育会議では、市長と意見交換を行う中で教育課題に対する共通理解を図ることができた。

点検・評価の結果

基本方針 1 健やかな心を育む学校教育の充実

< 基本事業 > 学校教育の充実

【担当課】学校教育課

	事業の内容	事業概要
確かな学力向上の推進	学習指導方法の工夫・改善	<ul style="list-style-type: none"> ・ 浅口市学力向上No.1プロジェクト推進委員会 ・ 魅力ある授業づくり徹底事業(1年次) ・ 要請訪問の充実 ・ 浅口市教育委員会研究指定校における研究推進 ・ 指導教諭・平成27年度授業改革協力員による授業研究会の公開 ・ 認定こども園移行のための職員研修の実施 <p style="text-align: center;">取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学力向上No.1プロジェクト推進委員会は、各校園の学力向上担当を推進委員として年間10回開催した。本年度は中学校区ごとに「ともに学ぶ」を中心とした取組を行った。取り組んだ内容について、情報交換等を行い、まとめとしての「学力向上フォーラム」も前年度に引き続き行うことができた。市内の学校園が足並みを揃えて学力向上に取り組むことができた。 ・ 県の事業である「魅力ある授業づくり徹底事業(1年次)」や指導教諭・授業改革協力員による授業研究を活用し、授業改善を進めることが出来た。 ・ 鴨方東小学校の研究発表会では、算数科で「伝え合い」を柱とした実践研究をすすめることができた。
	家庭・地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家庭・地域との連携による基本的な生活習慣の育成 <p style="text-align: center;">取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校保健委員会などの取組で、「早寝、早起き、朝ご飯」「ノーメディアデー」「中学校の定期試験に合わせての小・中学校学習週間の設定」などを進めている。

	保育園・幼稚園・小学校・中学校の連携	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園・小学校・中学校校舎長会、教頭会との連携 ・担当者別研修会（教務、養護教諭、生徒指導、不登校担当者等）の充実 ・3中学校区の学校間連携事業への支援 ・教職員研修の充実
		取組状況
		<ul style="list-style-type: none"> ・担当者別研修会を、各担当ごとに、年に2～3回程度開催し、それぞれの担当者の職務に対する理解を深めた。 ・学力向上No.1プロジェクトとして、今年度、中学校区として「めざす子どもの姿」を設定し、それぞれの校種でできる取組を考え、H28年度、実施していく予定である。
	学習時間の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校・中学校 2学期始業式の繰り上げ ・放課後学習サポート事業 ・「夏GAKUサブリ」の充実
		取組状況
	時代の進展に対応した教育(国際理解教育・ICT教育・環境教育等)の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人英語教師（ALT）の配置と活用 ・小学校・中学校におけるICT機器の効果的な活用の推進 ・小学校・中学校における環境教育の推進への支援
		取組状況
心の教育の推進	事業の内容	事業概要
	道徳教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校・中学校における道徳教育の推進 ・初任者研修、10年経験者研修等を核とした公開授業と校内研修の充実 ・外部講師やボランティア等地域人材の活用

		取組状況
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 参観日や学校公開、オープンスクール等において、道徳の時間の授業公開を積極的に行っている。
	学社連携による体験学習の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・ 夏のボランティア活動へ中学生の参加推進 ・ 中学生海外派遣事業への協力 ・ 学校支援地域本部事業 ・ 「夏GAKUサブリ」の充実 ・ 「キャリア教育」の推進
		取組状況
	学社連携による体験学習の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3中学校の2年生300名の職場体験学習（3日間 寄島中学校6月、鴨方中学校10月、4日間 金光中学校11月）の実施に関して、支援を行った。 ・ 地域の人材を外部講師やボランティアとして招聘し、諸活動を支援してもらった。特に学校だよりで具体的な内容等を積極的に広報し、多くの支援をいただいた学校もあった。 ・ 鴨方中学校区では、平成25年以降に、キャリア教育推進委員会で話し合ったことをもとに、継続して取り組んでいる。キャリア教育の観点に関連づけた教育課程を実施している。 ・ 中学生の夏のボランティア活動には市内の多くの中学生が参加し、貴重な体験の場となっている。
	教育相談の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・ スクールカウンセラーの配置 ・ スクールサポーターの配置 ・ スクールポリスの配置 ・ SSW（スクールソーシャルワーカー）の配置（派遣） ・ 定期教育相談
	教育相談の充実	取組状況
	教育相談の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・ スクールカウンセラーについては、県の配置事業を受けて、3中学校・3小学校に配置されているが、不登校や問題行動等に対して、児童・生徒・保護者等の悩みの相談や、心のケアを行うことができた。 ・ スクールサポーターについては、学校に登校は出来ても、様々な悩みを抱えているために、なかなか教室に入れぬ生徒への、学習サポート等の対応に効果があった。 ・ スクールポリスについては、市内全ての学校を巡回し、児童・生徒の問題行動や、生徒指導上の諸課題に対応し、落ち着いた学習環境作りにつながっている。

		<ul style="list-style-type: none"> ・ S S W (スクールソーシャルワーカー) については、要請のあった学校へ配置することで、家庭と学校をつなぐ役割を果たしてもらえた。S S W と教育委員会、学校が連絡を取り合うことで、情報共有ができ、ケース会等で効果的な話し合いをすることができた。 ・ 定期教育相談については、不登校・社会学校不適應、一般育児問題など、子どもの健全な育成のために、市内全体を対象にした取組となっている。
	<p>適応指導教室事業の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大簡塾への指導員の配置と指導内容の充実 ・ 施設環境と運営体制の整備 ・ 訪問カウンセラーの配置 ・ 思春期応援チームの活用 <p style="text-align: center;">取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大簡塾は、平日、月～金の9時から15時まで開館し、2名の指導員が対応できるよう配置し、学習支援等、一人一人に合わせた支援を行い、学校復帰に向けた取組を行っている。 ・ 阿藤伯海記念公園の、旧居内を利用しており、落ち着いた環境の中で活動できるようにしている。 ・ 年間20回、訪問カウンセラーを大簡塾に配置しており、大簡塾に通う児童・生徒や保護者の心のケアや、相談に対応している。 ・ 思春期応援チームにより、市の社会福祉部局等の関係機関と連携をとりながら、義務教育修了後も、外部とのつながりが全くないケースを作らないよう努力している。
	<p>生徒指導の充実(不登校対策・いじめ問題対策等)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 登校支援員による登校支援 ・ 講師による研修会 ・ いじめ問題対策連絡協議会の実施 ・ スマホの使用に係るPTAとの連携会議の開催 <p style="text-align: center;">取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県の事業で登校支援員を小学校5校に配置したことにより、不登校傾向の児童・生徒を家に迎えに行くなどの方法をとることができ、登校を促すことができた。 ・ いじめ問題対策連絡協議会を年に2回開催し、様々な立場からの意見を聞くことが出来た。予防という面からの取組紹介もよかった。

		<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園教育への指導・支援の充実
	就学前の教育支援	<p style="text-align: center;">取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要請訪問や園内研修の保育実践研修を通して、指導力向上に向けての支援を行った。 ・「学力向上No.1プロジェクト」の研究推進委員会に、幼稚園からも参加を得て、小学校を見通した活動を進めた。
体育・健康教育の充実	事業の内容	事業概要
	体力づくり・スポーツ活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・外部指導者派遣事業 ・小学校体育連盟・中学校体育連盟関係事業の支援 ・全国体力・運動能力・運動習慣等調査の実施と結果の活用 <p style="text-align: center;">取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鴨方中学校で実施された「中学校体育連盟」の研修会の指導助言を通して、鴨中スタイルの授業を広めることができた。 ・全国体力・運動能力・運動習慣等調査の結果をもとに、各校ごとの取組をまとめた。
	心身の健康の保持増進	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員及び園児・児童・生徒の健康診断実施 ・禁煙教育、薬物乱用防止教育等の推進 ・小学校・中学校における「あいさつ運動」の推進 <p style="text-align: center;">取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・玉島警察署との連携による「薬物乱用教室」を多くの学校で実施し、早い段階から正しい知識を身につけられるようにしている。 ・鴨方中学校区では、小・中連携の取組として、中学生の母校でのあいさつ運動を行った。靴揃え・無言清掃なども、多くの学校で成果を上げた。
	望ましい食生活習慣の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・新給食センター開設に向けた「食物アレルギー対応の手引き」改訂版の活用 ・学校給食における食物アレルギー対策委員会の設置 ・栄養教諭等による幼稚園・小学校・中学校での食育指導の充実 ・学校給食基本献立の作成 ・食育全体計画の作成と実践 ・給食における地産地消の推進

		取組状況
		<ul style="list-style-type: none"> ・給食における地産地消について、米は浅口産を使用。ジャガイモやあたご梨なども使用した。 ・アレルギー対応については、除去食を月2回程度実施した。 ・年間献立計画（H28）を策定し、学年別指導内容も盛り込んだ。
	子どもたちの安全・安心な生活の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園・小学校・中学校における月例安全点検の実施 ・小学校区における地域安全マップの点検と活用 ・登下校の児童・生徒の安全指導と地域の見守り活動との連携 ・玉島警察署、スクールポリス、補導協議会等関係機関との連携 ・浅口市青少年育成センターとの連携
		取組状況
		<ul style="list-style-type: none"> ・玉島警察署、補導協議会、見守り隊等多くの関係機関との連携により、児童・生徒の安全な暮らしを推進することが出来ている。 ・学校も落ち着いており、大変な事案が続くことはないが、家出、家庭内暴力、時々起こる事案については、スクールポリスや青少年育成センターなどとの連携が、とても有効であった。
人権教育の推進	事業の内容	事業概要
	人権教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・人権教育推進計画に基づく事業推進への指導・支援 ・教職員研修の充実
		取組状況
		<ul style="list-style-type: none"> ・各学校の管理職や人権教育担当者を研修会に派遣した。 ・各学校において、人権教育を教職員の研修に位置づけて実施している。
保護者・地域社会との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・PTA人権教育の推進と指導主事の派遣 	取組状況
	<ul style="list-style-type: none"> ・各学校・園において人権教育推進計画を作成し、教育課程に位置づけて推進している。 ・生涯学習課との連携により、各幼稚園・小学校・中学校PTA人権教育研修会を年1回開催。幼稚園PTA人権教育研修会には、指導主事を派遣して協議に参加した。 	

	事業の内容	事業概要
特別支援教育の充実	特別支援教育の推進と体制整備に関する研究	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園・小学校・中学校における特別支援教育推進体制整備への支援 ・教職員研修を充実させるための指導・支援 ・特別支援教育支援員による支援の充実 <p style="text-align: center;">取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門指導員派遣事業を効果的に活用し、専門的な視点で助言をもらい、日々の指導に生かすことが出来た。
	講演会・研修会の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者対象の教育講演会及び研修講座の実施 ・発達障害児支援のための教職員（保育園・幼稚園・小学校・中学校教員、支援員）研修会 ・発達障害児支援のための保育園・幼稚園職員研修会 <p style="text-align: center;">取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉課と連携し、幼稚園・小学校・中学校の教職員と生活支援員等を対象として、発達障害児理解と支援のための研修会を開催した。
	就学指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・就学指導と就学指導委員会の充実 ・就学前(6歳児)の健康診断の実施 <p style="text-align: center;">取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内の保育園・幼稚園・小学校の担当者を集め、就学指導等連絡協議会を開催した。 ・笠岡学園等の専門機関とも連携を図りながら、各校へ資料提供をするなど支援体制を充実させた。 ・浅口地区特別支援教育支援委員会を11月26日に開催した。
	支援を要する園児・児童・生徒のケース会議の開催	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもすこやか会議等の参加 ・幼稚園・小学校・中学校におけるケース会議への支援 <p style="text-align: center;">取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・倉敷児童相談所、おかやま発達障害者支援センター、笠岡学園、西備支援学校等の支援を受けて、児童・生徒のケース会議を開催し、協議した。
	生活支援員の配置と活用	<ul style="list-style-type: none"> ・通常学級における支援の必要な子への対応 <p style="text-align: center;">取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支援が必要な子どもについて、事前に担任と打合せをしておき、効果的に支援が行えるようにした。

	事業の内容	事業概要
教職員の適正な配置と人事管理	県費負担教職員の適正な配置と加配教員等の活用	<ul style="list-style-type: none"> ・初任者研修等各種職階別研修の充実 ・加配教員を活用した学校運営や教育内容の充実のための指導・支援 <p style="text-align: center;">取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少人数指導や、特別支援加配などの配置により、より充実した教育につないでいくことができた。学校によっては、加配が認められないところもあったが、市費により人員を配置し、成果をあげている。
	市費職員の任用と効果的な配置	<ul style="list-style-type: none"> ・小・中連携を図る市費非常勤講師の効果的な配置 <p style="text-align: center;">取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活支援員や、学級アシスタント、校務員などを適材適所に配置し、学校のニーズに合った対応が出来るように努めている。
	教職員のサービスの厳正	<ul style="list-style-type: none"> ・校長会及び管理職研修による職務の厳正 <p style="text-align: center;">取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岡山県教育庁各課及び岡山教育事務所等からの通知を、すぐに学校に伝えたり、校長会や管理職研修において周知したりするなど、各学校の教職員への周知指導を徹底した。
	人事評価システムの適正な運用と活用	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員の資質向上及び学校組織の活性化 <p style="text-align: center;">取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・適正なシステムの運用ができるように指導・支援し、教職員一人一人の資質能力または勤務意欲の向上につながり、学校組織の活性化を図るように努めている。 ・学校長に対して、研修の場を準備した。
	教職員が子どもと向き合う時間を確保するための学校マネジメント支援	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員の勤務負担軽減に向けた取組 <p style="text-align: center;">取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内小中学校全校に、学級アシスタントを各1名配置し、印刷やPCへの入力、会議の準備、片付け等にあたった。負担軽減が出来たことにより、子どもと向き合う時間を確保できてきている。

開かれた学校づくり	事業の内容	事業概要
	開かれた学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校公開日の推進 ・ 中学校における小学生対象のオープンスクールの実施 ・ 学校評議員会の開催 ・ 学校自己評価の取組と結果の活用 <div style="text-align: center; background-color: black; color: white; padding: 2px;">取組状況</div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 8月20日に、文部科学省コミュニティ・スクール推進員派遣事業派遣マイスター：出口寿久氏（北海道大学 学務部長）を招いて、教育委員や各校の管理職を対象に、コミュニティスクールの研修を行った。

成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「学力向上No.1プロジェクト事業」の3年次は、幼・小・中の連携に重点を置き、中学校区ごとの連携を深めて取り組む機運が高まった。また、学力向上のためには、学校・家庭・地域への働きかけも必要であるが、今年度も「学力向上フォーラム」を行ったことで、その輪が広がりはじめている。中心として行っている「放課後学習サポート事業」は、中学校でも実施するようになり、学習時間の確保に役だっている。 ・ 校内研修をはじめ、多くの機会をとらえては、学校（園）へ出向き、指導・支援を積み重ねながら、現場の様子を確かめるよう本年度も心がけた。施設整備や、人員配置に役立てることができたと感じている。学校に課題ができた場合には、岡山教育事務所などに緊急対応を依頼するなどして、教育委員会全体でバックアップすることができた。 ・ 学校に関係する諸機関が、深く連携をとる動きができてきており、その調整がうまくいくほど、よい成果となってきている。 ・ 学校に求められることは、年々多くなり、教員の多忙感も様々な範囲に及んでいる。そこで、市としても「学級アシスタント」を各校に配置し、プリントの印刷、教材の準備、掲示物の作成、張り替えなどの業務をすることで教員の負担軽減を目指した。学校には好評で、各校の情報交換をもとに、さらに有効な活用ができるように進めている。
課題・方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「学力向上No.1プロジェクト事業」は、3年間が経過し、「ともに学ぶ」を中心にした取組は、全小・中学校で意識され、軌道に乗ってきている。また、小・中連携加配がついた鴨方中学校区を中心に、小・中学校で足並みを揃えて重点を決め、学校間の交流も始まってきている。他の中学校区でも、靴揃え・無言清掃・あいさつなど、生活の基盤となる部分の取組も共通認識の上、始まっている。方向性を揃えながら、新たな取組を進めていくことが必要である。

自己評価 B

- ・「学力向上No.1プロジェクト事業」の2年次より、研究推進委員には、各校の実務を担当している「研究主任」または「教務主任」の出席を求めた。このことにより、共通理解が図られた上で、早い動きがとれるようになり、成果も上がっている。
- ・各校の校務分掌に、「学力向上担当」を位置づけるようにしたことで、「授業改善」に加えて、「基礎学力の定着」の取組も、さらに定着してきている。
- ・子どもたちと向かい合う時間の確保に向けて、充実とともに効率化を図る工夫への努力が必要である。そのために、様々な立場からの人的配置を行い、対応を行っている。県教育委員会や市長部局との連携を強化して、教職員配置を充実させるとともに教職員の資質向上のために計画的な訪問や研修による指導・支援など引き続き努力していきたい。

	事業の内容	事業概要
学習環境の整備・充実	施設・設備等の整備・充実	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校校舎の耐震補強工事（鴨方中学校、鴨方西幼稚園、六条院幼稚園） ・ 学校施設の改修工事（鴨方中学校プール・テニスコート、金光中学校プール等） ・ 幼稚園・小学校・中学校へエアコンの設置 ・ 小学校・中学校へICT機器の設置 ・ 学校給食センターの建設 ・ 学校給食受入施設の整備工事（鴨方西小学校、六条院小学校、鴨方東小学校、鴨方東幼稚園）
		<p style="text-align: center;">取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 鴨方中学校14棟校舎耐震改修等工事 平成27年9月竣工 ・ 鴨方西幼稚園耐震改修等工事 平成27年9月竣工 ・ 六条院幼稚園耐震改修等工事 平成27年9月竣工 ・ 鴨方中学校プール改修工事 平成27年6月竣工 ・ 鴨方中学校テニスコート人工芝張替工事 平成27年6月竣工 ・ 金光中学校プール改修工事 平成27年5月竣工 ・ 金光中学校階段室漏水修繕工事 平成27年11月竣工 ・ 金光竹小学校階段室漏水修繕工事 平成27年9月竣工 ・ 各幼稚園の保育室、各小学校・中学校の少人数学級及び特別教室へエアコンを設置 ・ 各小学校・中学校の少人数学級及び特別教室へプロジェクター、書画カメラ、マグネットスクリーンを整備 ・ 浅口市学校給食センター建設工事 平成27年6月竣工 ・ 鴨方西小学校給食受入施設建築工事 平成27年8月竣工 ・ 六条院小学校給食受入施設建築工事 平成27年8月竣工 ・ 鴨方東小学校給食受入施設建築工事 平成27年8月竣工 ・ 鴨方東幼稚園給食受入施設建築工事 平成27年8月竣工

<p>成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの学校が必要とする補修や改修について、計画的に取り組むことができた。何より子どもたちの安全を第一に考えながら、環境整備に努めた。 ・各園の保育室、各学校の特別教室等にエアコンを設置し、快適な環境で保育・授業ができるよう整備することができた。 ・厳しい予算ではあるが、子どもたちの安全・安心を最優先にとらえ、緊急性を要する懸案から施設・設備の改修を図ることができた。 ・当初の計画どおり新学校給食センター及び学校給食受入施設が完成し、平成27年度2学期から供用開始することができた。
<p>課題・方向性</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の施設は、建設後かなりの年数が経過しており、老朽化が進んでいる。大規模な改修については、さまざまな視点から検討を重ね、現状や課題をふまえた上で方向性を見出す努力が必要である。また、常に安全面の管理を徹底し、未然に事故等を防ぐ努力を継続していくことも大切である。 ・家庭や公共施設で洋式トイレが普及している中、小学校・中学校のトイレについては、未だに和式が主流となっている。和式トイレに不慣れな児童・生徒もいるため、学校施設のトイレの洋式化を推進し、快適な教育環境の確保を図る必要がある。 ・教育環境の整備には、予算の裏づけが必要である。各学校・園の状況を正確につかみ、優先度を付けて対応しなければならない。
<p>自己評価</p>	<p>自己評価 A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育には、環境の整備も重要である。限られた予算の中で、優先度の高い施設や設備の充実を図ることができたと考えている。しかし、年々施設の老朽化は進んでいる。中・長期的な大規模改修計画とともに、事故等の未然防止のために定期的な点検の徹底を図りながら、子どもたちの安全確保に一層の意識をもって取り組んでいくことが大切である。 ・次代を担う子どもたちの安全を保障するために、学校施設の安全対策は大変重要である。校舎等の耐震化工事を計画的に実施し、平成27年度で市内すべての幼稚園・小学校・中学校の工事を完了した。

基本方針 2 豊かな人生を育む生涯学習の充実

< 基本事業 > 生涯学習の充実

【担当課】生涯学習課

	事業の内容	事業概要
生涯学習のまちづくり事業の推進	生涯学習推進体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館等の生涯学習拠点施設の活用推進 ・社会教育団体の支援、育成
		<p style="text-align: center;">取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民を対象とした各種講座等を実施し、自主グループなどによる利用を促進した。 ・社会教育団体の活動に対して支援や助言を行った。
	市民ニーズに対応した学習機会の提供	<ul style="list-style-type: none"> ・市民学級などの各種講座による多様な生涯学習機会の提供 ・学びの成果を生かせる活動機会の充実
		<p style="text-align: center;">取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民学級（年7回開催、74名参加）、老人大学（年7回程度×3公民館）等を実施した。 ・公民館講座生による作品展示会など、発表の場を設けることで、日頃の成果を市民に披露できた。
公民館活動の推進	事業の内容	事業概要
	地域と連携した公民館活動の活性化	<ul style="list-style-type: none"> ・地域人材を活用した各種講座の実施 ・自主グループの育成 ・講座生等の成果発表の場の拡充
		<p style="text-align: center;">取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公民館講座の講師、放課後子供教室の講師に地域の人材を活用し、各種講座を実施した。 ・市内旧町毎の公民館において、自主グループが社会教育の目的を持ち年間を通して活動した。 ・3月初めに公民館講座の発表展示会を実施した。
幅広い層へ学習機会の提供	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後子供教室等をはじめとする子ども向け講座の実施 ・市民学級、老人大学の開催 ・各公民館における公民館講座の開催 	

		取組状況
		<ul style="list-style-type: none"> ・市民学級（年7回開催、74名参加）、老人大学（年7回程度×3公民館）等を実施した。 ・公民館講座：市内旧町毎に、年間を通しての公民館講座を23講座開催した他、数回の短期講座を開催した。 ・放課後子供教室：鴨方東小学校にて一体型の放課後児童クラブ・放課後子供教室を2回実施し、延71人の児童生徒が参加した。5月から3月の土曜日には15講座、288名の講座生による公民館での週末の体験教室を開催した。また、8月の夏休み期間中に「夏GAKUサブリin公民館」として計71講座の体験教室を開催、延1,685人の小学生が参加した。
図書館活動の推進	事業の内容	事業概要
	読書活動の推進、啓発、充実	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館講座「天文講座」の開催 ・幼稚園・小学校での読み聞かせ ・小学校への本の貸出
		取組状況
		<ul style="list-style-type: none"> ・年間を通しての図書館講座や図書館行事を行った。 ・夏GAKUサブリにおいて読み聞かせを実施した。
広報・啓発活動	事業の内容	事業概要
	様々な媒体を利用した情報発信、広報啓発	<ul style="list-style-type: none"> ・広報紙、HP、メールサービス等を利用した参加者の募集、各種イベント情報の周知
		取組状況
		<ul style="list-style-type: none"> ・市広報紙・折込チラシへ公民館講座生の募集を行った。 ・市HPへ公民館講座の実施内容を掲載するとともに、講座生募集期間中は電子申請での申込を受付した。 ・高梁川流域連盟広域利用の相互返却を開始した。

成果	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館において、修繕・改修により、快適さや安全性の向上を図った。 ・市民のニーズに応じた学習機会の提供の場として、「市民学級」（年7回）、「老人大学」（年7回程度×3公民館）等を開講した。 ・育児雑誌に図書館が掲載された。
課題・方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館、図書館の連携をより深めながら、それぞれの地域の特性に根差したきめ細かいサービスを提供できるよう努力が必要である。

自己評価

自己評価 B

- ・図書館機能は全体的に順調な成果を上げているが、利用者と未利用者が分化する傾向にあり、広報を工夫するなどして利用者の拡充を図り、市民全体を念頭に置いたサービスを実施することが重要である。

		事業の内容	事業概要
社会教育施設の整備・充実	公民館、図書館など社会教育施設の整備・充実	<ul style="list-style-type: none"> 施設の整備、充実 施設間で情報を共有する等のネットワークの強化 	取組状況
		<ul style="list-style-type: none"> 中央公民館玄関のタイル改修、大ホール空調設備修繕など、利用者の安全性向上を図った。 	
	金光さつき図書館、鴨方図書館、寄島図書館の貸出・図書館管理システムを活用した相互ネットワークの充実	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の利便性の確保 図書館管理システムを活用するための環境整備 	取組状況
		<ul style="list-style-type: none"> 多様化する市民からのニーズに適切な対応が出来るよう、定期的に図書館職員の打ち合わせ会を開催し、市民サービスの向上に努めた。 	
青少年健全育成の推進	子ども育成条例に基づいた、家庭・学校・地域・企業及び行政が連携した教育推進	<ul style="list-style-type: none"> 浅口市地域共同体を形成する学校・家庭・地域・企業及び行政等の連携強化 	取組状況
		<ul style="list-style-type: none"> 学校・家庭・地域・企業及び行政のパイプ役として青少年育成センターが中心となり、補導活動や啓発活動等の取組を行った。 	
	青少年団体活動の活性化	<ul style="list-style-type: none"> 各団体への補助、支援 子ども祭の開催 	取組状況
		<ul style="list-style-type: none"> 青少年育成活動協議会による研修会や各種イベント等の支援を行った。 子ども会指導者クラブとともに「子どもまつり」を実施した。 青年団協議会、ボーイスカウト、子ども会、はるか会、にじの会、風の子による青少年健全育成活動の支援を行った。 	
青少年育成センターを中心にした補導・相談・環境浄化・広報啓発活動の展開	<ul style="list-style-type: none"> 街頭補導業務 相談業務 有害図書回収等による環境浄化 街頭啓発キャンペーンの実施 		

		取組状況
		<ul style="list-style-type: none"> ・専任指導員、指導員が中心となり、毎月実施の定例補導に加え、夜間特別補導や列車補導を実施した。 ・広報紙やホームページを活用して相談業務をPRした。 ・市内3ヶ所に設置している白ポストを活用して有害図書の回収を行った。 ・岡山県青少年健全育成強調月間にあわせ、7月と11月にJR鴨方駅、金光駅周辺で啓発活動を実施した。また3月には寄島地区において、テント村を実施した。
家庭教育の推進	事業の内容	事業概要
	子育てに関する学習機会の提供、相談・支援体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・「家庭教育学級」などによる学習機会の提供 ・各種団体、機関等と連携した「届ける」家庭教育支援への取組
		取組状況
		<ul style="list-style-type: none"> ・親子のふれあいを目的に家庭教育学級として「親力アップ！子育ていきいき塾」を年2回開催した。 ・市内小学校において、就学時の健康診断等の機会を捉えて、参加型学習プログラム「親育ち応援学習プログラム」を実施した。
学校、家庭、地域との連携による教育力の充実	事業の内容	事業概要
	学校支援地域本部事業をはじめとする、学校、家庭、地域が連携した取組	<ul style="list-style-type: none"> ・学校支援地域本部事業の継続した取組 ・大人も子どもも育ち合う、地域教育力向上のための体制整備
		取組状況
		<ul style="list-style-type: none"> ・学校教育を地域ぐるみで支援するため学校支援地域本部を設置し、様々な経験や専門性を持つ地域ボランティアを学校の要請に基づいて派遣した。 ・学校、地域と連携し、「夏GAKUサブリ」を各公民館で実施した。
	<ul style="list-style-type: none"> ・各公民館における放課後子供教室の開催 ・放課後子ども総合プランに基づく、児童クラブと一体型の取組 	
	取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・各公民館における週末の体験活動として地域のボランティア方々が講師となり、15講座の教室を開催した。 ・8月の夏休み期間中における「夏GAKUサブリin公民館」にて地域のボランティア、学生ボランティアの協力の下、計71講座の体験教室を開催した。 ・鴨方東小学校にて一体型の放課後児童クラブ・放課後子供教室を2回実施、地域のスポーツ推進委員を講師に迎え、ニュースポーツ体験活動をした。

	事業の内容	事業概要
子ども読書活動の推進	「子ども読書活動推進計画」に基づく取組	<ul style="list-style-type: none"> ・同じ目的で活動している機関・団体との連携によるネットワーク構築 ・ボランティア育成のための研修会、情報交換会の開催 ・活動の場の充実や情報提供
		取組状況
	発達段階に応じた子どもの読書活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・市内の読書ボランティア団体に呼びかけて合同で研修会及び交流会を実施した。
		取組状況
		<ul style="list-style-type: none"> ・発達段階に応じた読書を生活リズムの中で位置付けられるような活動の推進
		<ul style="list-style-type: none"> ・健診時に保護者に対して、本を仲立ちにした子どもとのふれあいの重要性を伝え、ブックリストを渡したり、学校での読み聞かせを行ったりした。

成果	<ul style="list-style-type: none"> ・「子どもまつり」では子ども会指導者クラブと連携し、子どもの日ごろの活動成果を発表する場の提供や各種様々なブースを設けることで近年参加する親子が増加した。 ・青少年健全育成街頭キャンペーンでは、自主的に高校生が参加して実施することができた。
課題・方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・青少年健全育成を目的とした各種団体は高齢化が進んでおり、家庭教育を視野にいれる中で若者の参加が必須である。 ・子ども会、ボーイスカウト活動は、新たな指導者の発掘、多くの方の参加を促し更なる交流を図ることが求められる。読書活動のネットワークについては有効な方法を考えるとともに、各事業とも内外の研修に参加する機会を設けることが必要である。 ・子どもの活動の推進については、読書活動推進計画を中心に、家庭、行政等が一体となって取り組んでいくことが必要である。 ・夏GAKUサプリについては、学校・地域との連携をさらに深め、学習プログラムの充実を図ることが望ましい。
自己評価	<p>自己評価 B</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青少年育成センター業務は、開設から3年が経過した中で概ね軌道に乗ってきたが、より一層の充実した事業展開ときめ細かな取組が必要である。故に各種団体等と協力し地域を巻き込んだ運営が望ましい。

基本方針 3 スポーツ活動の振興

< 基本事業 > スポーツ・レクリエーション施設の整備・充実

【担当課】生涯学習課

	事業の内容	事業概要
社会体育施設の整備・充実	手軽にスポーツを楽しめる施設の整備・充実	<ul style="list-style-type: none"> ・ 体育施設の修繕や老朽化した備品の更新 ・ ニュースポーツ用品の計画的な整備
		<p style="text-align: center;">取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ニュースポーツ用品を購入し、放課後子ども教室等でも活用し、整備・普及に努めた。
	利用者間の連絡及び調整による有効活用	<ul style="list-style-type: none"> ・ 体育協会、スポーツ少年団等の各種団体の事業計画に基づく調整
		<p style="text-align: center;">取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業計画に基づき連絡及び調整を行い、必要に応じて代替施設の利用ができるよう調整を行った。
	予約システムの導入検討	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市内施設の貸出方法等の調整、予約システム導入の検討 ・ ホームページ等による市内施設の情報発信
		<p style="text-align: center;">取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市内施設の貸出方法等について協議し、予約システム導入について検討中

成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 計画的にニュースポーツ用品を整備し、それを放課後子ども教室や青少年育成事業等で活用し、整備だけでなく普及させていくこともできた。
課題・方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今後も各施設の環境整備に努めていき、貸出方法等の調整や予約システム導入の検討をしていく必要がある。 ・ 引き続きニュースポーツの整備・普及に努めていく。
自己評価	<p>自己評価 B</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各施設の老朽化への対策を早急に行い、体育施設の更なる利便性の向上に努める必要がある。また、ニュースポーツの普及・推進をしていくことで、スポーツに親しめる環境づくりができるものとする。

		事業の内容	事業概要
社会体育の振興	スポーツ振興計画の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各種スポーツ団体の育成 ・ 学校体育との連携 ・ 各種スポーツ情報の提供 ・ 学校体育施設の開放 ・ スポーツ指導者の確保と資質の向上 	<p style="text-align: center;">取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市内スポーツ少年団の入団希望を年度末に各学校・園に募り、60名の入団希望があった。 ・ スポーツ少年団の指導者の資質向上を目指し、「スポーツリーダー養成講習会兼スポーツ少年団認定員養成岡山県講習会」の参加を募った。
	各種団体と連携したスポーツ・レクリエーションの普及	<ul style="list-style-type: none"> ・ 体育協会と連携したテニス教室やスキー教室等初心者教室の開催 ・ ナイターソフトボール大会やナイターペタンク大会等市民の交流を目的とした大会の実施 ・ 全国大会等に出場する選手への激励金の交付 	<p style="text-align: center;">取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市体育協会によるバレーボール大会やソフトボール大会等の各種スポーツ大会を実施した。また、市民体育祭、マラソン大会、硬式テニス教室及びスキー教室を開催した。 ・ ナイターソフトボール大会等の市民の交流を目的とした大会は市報等を活用し多くの市民の参加を募った。

成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 総合型地域スポーツクラブでは、広報活動等を積極的に行い、事業拡大に繋げている。 ・ 市民体育祭やマラソン大会、市体育協会による各種スポーツ大会等に多くの市民が参加した。
課題・方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・ スポーツ振興計画をもとに、より多くの市民が気軽にスポーツに親しめるよう、引き続き生涯スポーツの普及・推進やスポーツ施設の整備、拡充に努めていく。

自己評価

自己評価 B

- ・社会体育事業の参加者数やスポーツ少年団の新入団数など少子高齢化の影響で減少していくことが考えられるので、一層の広報活動が必要になると思われる。

基本方針 4 文化の薫る地域の振興

< 基本事業 > 文化施設の整備・充実

【担当課】文化振興課

	事業の内容	事業概要
かもがた町家公園の円滑な管理・運営	歴史公園のもつ特色を活かした公園の管理運営	<ul style="list-style-type: none"> ・かもがた町家管理組合による伝承館や公園周辺の案内 ・団体・個人へのふれあいの館、交流館などの貸館事業 ・かもがた町家管理組合との協働事業 <p style="text-align: center;">取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民活動の支援並びに市民相互の交流及び連携の促進のために「交流館」と「ふれあいの館」の貸館事業を行った。 ・伝承館（岡山県指定重要文化財「旧高戸家住宅」）、郷土の館や交流館では、地域の歴史を学び、文化を継承する場として活用した。 ・水遊び場は、幼児を対象に夏季の7月から8月の期間限定で開設している水深の浅い施設であり、約1,300名の利用があった。 ・かもがた町家管理組合に伝承館等の案内、公園の清掃、文化事業を委託して事業を実施した。
	来園者に憩いと安らぎを与えられる管理と温かいおもてなしの心の運営	<ul style="list-style-type: none"> ・かもがた町家管理組合による食堂事業 ・かもがた町家管理組合による植栽や広場などの施設整備 ・親子のふれあいの場となる水遊び場の開設 ・避難訓練など安心安全事業の実施 <p style="text-align: center;">取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かもがた町家管理組合に交流館の一部を食堂「まちや亭」として貸出し、近隣の方々の憩いの場となっている。 ・視認性が高いトイレ案内表示と外国人にもわかりやすいトイレ案内表示を設置した。 ・公園が開園して17年を迎えており、屋外施設が老朽化や自然災害等で破損した箇所から随時修繕を実施して、来園者の安全に努めた。 ・不測の事態に備えた文化財火災防御訓練や職員のA E D講習の受講を実施した。

	地域に伝わる伝統文化の継承事業の展開	<ul style="list-style-type: none"> ・小学生を対象に町家塾や琴塾の開講 ・七草やひな祭りなど年中行事にあわせた事業 ・方言や歴史をテーマにした町家公園講座の実施
		<p style="text-align: center;">取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かもがた町家公園講座では、岡山大学落語研究会による「まちや寄席」を開催し、江戸時代から続く芸能、民族文化を学習する機会を提供した。 ・企画展は、伝承館で節句にあわせて五月人形（内飾り）展、雛人形展を開催し、屋外で鯉のぼり展示、菊花展を実施した。 ふれあいの館では、5月の大型連休に寄贈民具を一堂に会した体験型展示「昔の道具展」を開催した。また、展示事業に伴い、張り子の虎の募集を行ったところ、市内外の方から多くの寄贈を受けた。年末年始では、正月の装いで門松や正月飾りを展示した。 ・体験事業では、5月の大型連休になわない、煎餅焼き、お駕籠乗り等の「昔体験」を日替わりで実施した。また、とんど焼き、投扇興、お琴の弾き方体験と演奏会、町家公園茶会を開催した。 ・江戸時代の町家の魅力を発信するため、弦楽五重奏によるスプリングコンサートを開催した。 ・町家塾は、各節句の民俗行事、麦稈真田組み、節団子作り、羽子板作り、粘土細工等を小学生30名と保護者を対象に年10回実施した。
岡山天文博物館の円滑な運営・管理	事業の内容	事業概要
	天文台のあるまちとしての特色を活かした博物館の運営	<ul style="list-style-type: none"> ・天文や宇宙に関する知識を深めるための事業の実施 ・来館者を増やすため天文以外の分野を取り入れた事業の実施 ・プラネタリウムや4Dシアター、太陽観測、既存展示を生かした博物館運営 ・天文博物館を円滑に運営するための施設管理 <p style="text-align: center;">取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タッチパネル式で天文クイズや宇宙探索が楽しめるモニターを新しく設置した。 ・岡山天体物理観測所の特別公開（年1回）及び特別観望会（年2回）に共催の形で参加し、工作教室や星に関するビンゴゲームなど、普段の博物館とは異なるメニューで運営を行った。 ・プラネタリウムスタンプカードを市内小学生と来館した市外の小学生以下の子どもに配布し、リピーターを増やすことを試みた。また、掲示用の博物館通信を市内小中学校に配布した。

		<ul style="list-style-type: none"> ・ 3 公民館、3 図書館及び鴨方駅構内通路の掲示板に、行事予定やイベントポスターを掲示し、広報に努めた。 ・ 倉敷、福山のホテルや旅館にチラシを設置した。 ・ その他各種講座・イベント（観望会、望遠鏡工作、かがく広場、プラネタリウムコンサート等）の開催。 ・ 「岡山天文博物館友の会」定期活動の企画・実施の支援。
	岡山理科大学、京都大学との教育協力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 天文博物館主催事業への講師派遣 ・ 中学校での出前授業 ・ 中学生の大学見学の受入 ・ 博物館実習の受入 <p style="text-align: center;">取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 夏の特別公開日に京大教授が来市し、新望遠鏡についての解説を行った。 ・ 10月に京大教授が来市し、鴨方中学校で宇宙をテーマに出前授業を行なった。 ・ 岡山理科大学との教育協定に基づき天文教育普及と人材育成を目標に、同大と連携し博物館実習の受入を行った。
	3.8m新望遠鏡に関する事業協力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新望遠鏡関連資材の展示協力 ・ 新望遠鏡見学の受入 <p style="text-align: center;">取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 国の地域創生事業費を活用し、「天文のまち浅口」を紹介するオリジナルプラネタリウム番組やCM番組を制作した。CM番組は東京スカイツリーのプラネタリウム館で3ヶ月間投映し、10万人以上に発信することができた。 <p>また、新望遠鏡の様子が随時見られるモニターを設置したほか、3Dで新望遠鏡の模型を製作しバーチャルで動かして楽しめるようにした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 来館者を対象に新望遠鏡見学のツアーを実施。
	事業の内容	事業概要
阿藤伯海記念公園の円滑な管理・運営	郷土先人である阿藤伯海の顕彰	<ul style="list-style-type: none"> ・ 阿藤伯海に関する展示品の管理及び来場者への説明 ・ 阿藤伯海に関する説明資料の作成 <p style="text-align: center;">取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 写真パネルを中心とした展示資料の整備し、視覚的にわかりやすい展示説明を行なった。 ・ 阿藤伯海の教え子が行なった講演会を書き起こし、人物としての阿藤伯海を取り上げた冊子の作成を行なった。

	<ul style="list-style-type: none"> ・漢詩人である阿藤伯海を顕彰する公園として、小学生を対象とした論語かるた大会を開催した。 ・歴史講座として「阿藤伯海に魅せられて」と題した講座を行い、阿藤伯海の人間的な魅力をわかりやすく解説した。
	<ul style="list-style-type: none"> ・阿藤伯海記念公園管理組合協力によるイベントの実施 ・季節ごとに花の開花状況を周知 ・植物がその魅力を十分に発揮できる植栽管理 ・必要に応じての施設修繕 <p style="text-align: center;">取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大賀ハスの開花時期に、蓮見茶会を開催し、涼やかな雰囲気の中で、お茶と箏演奏によるもてなしを行なった。 ・ボケ、梅、桜、シモクレン、蓮の開花をプレス発表。また、管理組合と協力し、公園の四季折々の植物をまとめたポスターを作成し、開花状況の周知に努めた。 ・新しく寄贈された畑地内の梅を既存の梅と合わせて楽しめるように手入れを行なった他、枯死した紅葉の枝の伐採や牡丹の増植を行って景観を整えた。
来園者に心地よく訪問していただくための施設運営・管理	

成果	<ul style="list-style-type: none"> ・町家公園は、歴史公園の魅力を活かした事業の実施により、入園者数は高水準を保っている。 ・継続した事業実施により、歴史公園としての知名度が上昇しており、市外からの施設利用者が増えている。 ・阿藤伯海について新たに作った冊子は、人物としての同人をわかりやすく伝える初めての資料である。 ・岡山天文博物館は、国庫補助を活用した展示の更新等により、入館者が前年比約10%増となった。
課題・方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・かもがた町家公園については、地元を中心に、鴨方町域での認知度は高いが、金光町と寄島町においてはまだまだ十分に認知されていない。また、阿藤伯海記念公園については鴨方地域での認知度も低い。市内全域での認知度を高めることが課題である。 ・町家公園で実施する事業は、競合する他の教育施設と比較し、歴史的な環境の中で伝統文化を体験できるという点で希少性がある。この点を町家公園のブランドイメージとして確立できるよう、広報宣伝を行う。 ・町家公園では、指導員の後継者養成が急務である。指導には、暗黙的な知恵が必要となるため、現場での育成の機会を確保する。 ・岡山天文博物館は、来館者に占める市民の割合が少ない。児童生徒を対

	<p>象とした事業や学校への出前授業などにより、子どもの時から博物館の存在を植えつける工夫が必要である。</p>
<p>自己評価</p>	<p>自己評価 B</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かもがた町家公園は、かもがた町家管理組合との連携で特色ある管理運営ができた。 ・公園で地域住民が、地域の歴史や文化や人々の暮らしに親しむ機会を提供することができた。 ・阿藤伯海先生没後50年の節目に、記念講演、冊子発行といった顕彰事業を行うことができた。 ・東京でのCM投映により「天文のまち浅口」を全国に発信することができた。また、オリジナル番組の制作により「天文台のあるまち」としての歴史や未来への夢を後世まで伝えていくことができる。 ・市全域での知名度を高める広報宣伝が不十分である。 ・競合する他市町の教育施設との違いを明確にした広報宣伝が不十分である。

	事業の内容	事業概要
文化財の保護・保存・公開・普及活動	歴史を伝える財産の適切な保全と資料館等での公開、伝承	<ul style="list-style-type: none"> ・市指定文化財の調査や保護 ・市民の文化財等に対する理解や知識を深める機会の提供 ・文化財等管理団体の活動の支援 ・埋蔵文化財の試掘確認調査等の実施及び遺跡・遺物の保護や記録保存 ・かもがた町家公園、阿藤伯海記念公園の管理運営 ・資料館での資料の公開
		<p style="text-align: center;">取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人、法人や地域等が所有及び管理している指定文化財については、適切な指導や助言を行なった。市指定無形民俗文化財の保存団体が行なう保存活動事業に対し、補助金の支給や民間助成金を紹介し、事業の継続や活性化を促した。 ・岡山県指定重要文化財の旧高戸家住宅の公開をかもがた町家管理組合に委託し、火曜日から日曜日に開館した。市指定文化財の阿藤伯海旧居は、阿藤伯海記念公園管理組合に委託し、水曜日から日曜日に開館した。 ・市内の近代建造物の現地踏査を行ない、文化財の指定等に必要データを収集した。 ・文化財公開の基本的な設備である説明板 1 基や案内標識 3 基の整備を行なった。 ・浅口市指定天然記念物の「安倉八幡の大樟」の保全対策を行なった。 ・アッケシソウ自生地生育調査研究事業は、岡山理科大学に委託し、寄島町アッケシソウを守る会と協力して調査や保護活動を展開した。 ・市内遺跡の開発に伴う埋蔵文化財の分布・確認調査を実施するとともに、その取扱いに関して指導助言を行ない、埋蔵文化財の適切な保護を図った。 ・京都大学新天文台建設に伴う竹林寺天文台遺跡の埋蔵文化財発掘調査を実施した。 ・市内に所在する文化財の指定等について、教育委員会の諮問に基づき、文化財保護委員会で審議した。

	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史講座は、浅口市指定史跡の阿藤伯海旧居で阿藤伯海先生について行なった。岡山県生涯学習連携講座事業である県西部の文化は、「浅口の自然科学」をテーマとして、アッケシソウや天文について講座を行なった。 ・資料館等については、日常の維持管理とともに、古文書や民具類の燻蒸等を実施した。金光歴史民俗資料館では、企画展「浅口の今昔写真展～郷愁～」を開催した。 ・『鴨方町史』附録の「鴨方町民謡」テープのデジタル化により経年劣化の防止を行なった。
--	--

成果	<ul style="list-style-type: none"> ・市内に所在する文化財の指定や指定文化財の現状変更について、教育委員会の諮問に基づき検討し、答申を行なった。 ・文化財保存団体が行う事業への補助金を適切に支給し、伝統的民俗行事等の啓発活動を支援した。 ・市指定無形民俗文化財「おわけ祭り」説明看板の修理と市指定天然記念物「アッケシソウ自生地」に自生区の表示看板を3基設置した。 ・「安八幡の大樟」の保全対策では、枯死枝の剪定、土壌改良や害虫駆除を行ない、天然記念物を保護することができた。 ・アッケシソウ自生地では、岡山理科大学との生育調査研究事業に自生地の植物相、遊水地の濃度や水質調査の科学的分析が進み、環境整備が進んだ。 ・徳乗寺山古墳（鴨方町六条院中地内）の確認調査では、規模を確認し原因者と協議の結果、現状保存することができた。 ・分布調査では、竹林寺山中に古墳時代後期の古墳2基を新規に発見し、市平1号墳と2号墳として把握できた。 ・京都大学新天文台建設事業に伴う竹林寺天文台遺跡（鴨方町本庄地内）埋蔵文化財発掘調査では、弥生時代の高地性集落の様相を把握することができた。また、発掘調査期間中には調査情報をホームページで頻繁に周知し、現地説明会の開催や中学生の職場体験を行ない、地域の歴史への興味関心を深めることができた。
----	---

<p>課題・方向性</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・個人所有等の指定文化財は、今後所有者等と連携を密にして、指定文化財の適切な維持管理を進めていく。 ・自然災害発生後に対応できる文化財保護の体制作りが必要である。 ・市内に存在する文化財を後世に継承していくため、文化財指定や登録を継続的に実施していく。また、未指定文化財の調査を行ない、情報を収集する必要がある。 ・アッケシソウを守る会と連携して、アッケシソウ自生地調査保護活動を展開する。 ・文化財保護については、高齢者の文化財に対する関心は高いが、中若年層の関心が低いため、意識の高揚に努める。 ・埋蔵文化財については、工事申請者との開発調整協議を密に行ない、基礎構造に遺構への影響がないものを採用してもらうなど、より多くの遺跡が地中にて保存されることに努める。 ・年度途中で大規模な遺跡の発掘調査が必要となった場合、また発掘調査依頼が重複した場合には、現状の職員数及び体制では対応できない。 ・新たな郷土の歴史遺産を発見し、活用する。
<p>自己評価</p>	<p>自己評価 B</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度に新たに1件について、指定の答申を受け、指定文化財が39件となる。 ・アッケシソウ自生地の生育調査では、岡山理科大学の科学的な調査でアッケシソウの保護保全に関する基礎的情報を継続的に収集することができた。 ・文化財の所有者や管理者等と連携を図りながら文化財保護事業を実施した。また、市が所有する文化財の維持管理に努めることができた。 ・小中学校や地域の郷土史研究会、公民館等と連携した形での文化財の活用や学習機会の提供を図る必要がある。

	事業の内容	事業概要
芸術文化活動の普及と振興	各種団体及び学校との連携による文化・芸術活動の発展	<ul style="list-style-type: none"> ・ 芸術文化活動への参加の奨励 ・ 自発的、積極的な文化活動の推進 ・ 国・県が実施する小学校・中学校向け文化芸術体験事業の周知及び取り次ぎ ・ 浅口市音楽祭の開催
		<p style="text-align: center;">取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市立小中学校に対して、文化庁や岡山県主催の芸術文化関連事業の照会を行った。今年度は、寄島小学校において、岡山フィルハーモニック管弦楽団メンバーによるスクールコンサートが開催された。 ・ 高梁川流域連盟事業として、ふれあい交流館「サンパレア」において、フォトコンテストと高校生絵画展を開催した。 ・ 金光町音楽祭及び天草ふれあい音楽会を自主運営に移行した。 ・ 総合文化祭（金光、鴨方、寄島会場）及び文化連盟文化祭を開催した。 ・ 文化連盟、文化協会の活動に対して支援や助言を行い、各団体の自主的な活動を促した。

成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小学生が高度な音楽演奏を鑑賞することができ、音楽を通じて感情や情緒を育むことができた。 ・ 高梁川流域連盟の事業を通じて、流域間において地域住民が文化的交流を深めることができた。 ・ 浅口市音楽祭は、将来の財政状況の悪化に配慮し、市主催による開催についての見直し、関係団体との調整を行っている。 ・ 文化祭では各団体が主体となり、自発的に活動が展開された。
課題・方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民が芸術文化活動に触れる機会を増やすため、文化祭や音楽会等の事業の広報に努める。 ・ 高梁川流域連盟事業の継続により、流域間における文化的交流を促進する。 ・ 各団体は自発的な活動を行っているものの、行政に依存する部分も多く、今後より一層の各種団体の自立が求められる。

自己評価

自己評価 B

- ・音楽会については、「浅口音楽祭」の開催はできなかったが、既存の各音楽祭を参加団体による自主開催へ円滑に移行させることができた。
- ・高梁川流域連盟の流域マップ事業により、流域内での浅口市の存在感を高めることができた。
- ・文化祭運営について、参加団体による自主運営をよりいっそう促進することができた。
- ・文化祭準備及び片付け作業に参加する教育委員会職員の数を大幅に削減し、行政コスト削減に貢献できた。

基本方針 5 グローバルな感性を育む国際交流・理解

< 基本事業 > 国際交流の推進

【担当課】文化振興課

	事業の内容	事業概要
姉妹都市（豪州・ティーツリーガリー市）、友好提携都市（中国・高安市）との交流	友好交流による相互理解	<ul style="list-style-type: none"> ・青少年海外派遣研修事業の実施 ・豪州青少年の受入れの実施 ・友好提携の再締結 ・友好訪問団の受入と友好訪問
		<p style="text-align: center;">取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏休みに中学生15名、引率者2名の計17名をオーストラリアに派遣。ティーツリーガリー市役所に表敬訪問したほか、モデブリー高校生宅等にホームステイしながら高校の授業に参加し、また校外活動等を通して高校生との友好を深めた。 ・10月にモデブリー高校生他8名について、歓迎会や授業参加など学校全体で受け入れを行なった。 ・中学生の派遣に同行する形で、市長が豪州TTG市などを訪問。表敬訪問でTTG市長やモデブリー校長と意見交換を行なった他、中学生の研修先を視察した。 ・有効期間が満了した中国高安市との友好提携を再締結するためと、上級市の宜春市、江西省を表敬訪問するために市長以下4名が訪中し、意見交換を行い、友好を深めた。 ・4月に中国高安市、28年1月に宜春市の政府訪問団が来市し、市長に表敬訪問をした後、施設や企業を視察した。
	事業の内容	事業概要
交流を通しての国際理解	異文化交流による国際感覚の醸成	<ul style="list-style-type: none"> ・国際理解講座の実施 ・浅口市国際交流協会による国際交流フェスティバルの実施 ・浅口市国際交流協会によるアメリカ大学生等ホームステイ受入事業
		<p style="text-align: center;">取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外郭団体である国際交流協会が実施する外国人との交流事業「英語で国際理解講座（年9回）」や「アメリカ大学生等

		ホームステイ受入、「国際交流フェスティバル」を通して、一般市民や子ども達が気軽に外国の方と会話ができる機会が持てるよう支援を行った。
--	--	--

成果	<ul style="list-style-type: none"> ・友好都市交流については、TTG市、高安市とも市長の訪問を大変好意的に受けとめており、互いの距離が一気に短くなった。中国については、上級市である宜春市が返礼として初めて来市するなど、友好関係が深まった。 ・再来市したモデブリー高校校長との協議で、受け入れた中学校とより有意義な交流ができるように28年度から滞在日を1日増やすことになるなど、豪州側の積極的な姿勢を維持することができた。
課題・方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・モデブリー高校からの来日者が減っており、来日しない年ができる可能性もある。双方にとって魅力ある交流となるよう、事業内容を検討する必要がある。 ・国際交流協会事業の参加者が少なく、会員も減っている。国際交流に関心がある若い世代が参加しやすい事業内容、事業運営を考える必要がある。
自己評価	<p>自己評価 B</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市長の表敬訪問が実現したことで、友好都市との相互理解、信頼関係は深まった。 ・市主催の国際理解講座を実施することができなかった。国際交流は積み重ねが大切なので、来年度以降は必ず実施する。 ・国際交流協会主催の交流事業については、予定通り実施することができた。

< 基本事業 > 国際的に活躍できる青少年の育成 【担当課】文化振興課

事業の内容		事業概要
コミュニケーション能力の向上	意思伝達能力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・中学生英語スピーチコンテストの開催 ・浅口市国際交流協会によるイングリッシュキャンプの実施 ・青少年海外派遣研修事業の実施 ・豪州青少年の受入れの実施
		<p style="text-align: center;">取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・11月に「浅口市長杯中学生スピーチコンテスト」を開催したところ、22組26名の中学生が英語教諭やALTの指導の下、スピーキング能力を磨き、コンテスト当日には多くの聴衆を前にジェスチャーを交えながら表現豊かに発表を行った。 ・夏休みに中学生15名、引率者2名の計17名をオーストラリアに派遣。ティーツリーガリー市役所に表敬訪問したほか、モデブリー高校生宅等にホームステイしながら高校の授業に参加し、また校外活動等を通して高校生との友好を深めた。 ・国際交流協会が実施したイングリッシュキャンプでは、外国人講師の指導の下、20名の小中学生が英語や外国の遊び、ダンス等に挑戦した。市は事務局として準備段階から開催を支援した。

成果	<ul style="list-style-type: none"> ・スピーチコンテストについて、1年生から3年生までが積極的に参加をしており、また各ALTも熱心に指導に当たっている。審査員からも発音等のレベルが高いと評価された。 ・再来市したモデブリー高校校長との協議で、受け入れた中学校とより有意義な交流ができるように28年度から滞在日を1日増やすことになった。
課題・方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・スピーチコンテストについて、暗唱に比べて創作に挑戦する中学生が少なかった。自分の意見を伝える力を養うことから考えると、暗唱の次には創作に挑戦するよう促したい。 ・モデブリー高校からの来日者が減っており、来日しない年ができる可能性もある。双方にとって魅力ある交流となるよう、事業内容を検討する必要がある。

自己評価

自己評価 B

- ・スピーチコンテストは例年どおりの参加と成果を得ることができ、事業として定着している。
- ・青少年海外派遣事業は、学校での呼びかけや事業説明会実施の成果により、39名という近年にない応募数となり、周知が図られている。

基本方針 6 人権の尊重・男女共同参画社会の確立

< 基本事業 > 人権啓発、人権教育の推進

【担当課】生涯学習課

	事業の内容	事業概要
人権教育の推進	人権問題に関する正しい理解と認識を深めていくための啓発、研修活動の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的人権が尊重される社会の実現を目指した研修活動等の実施 <p style="text-align: center;">取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権教育推進協議会総会開催し、人権教育に関わる26年度の事業報告並びに27年度の事業計画について審議した。協議会委員の研修活動として、講演会及び視察研修を実施した。 ・人権教育指導者養成講座を年7回実施した。
	学校教育、社会教育と連携した人権教育の総合的な推進	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園・小学校・中学校におけるPTA人権教育の推進 <p style="text-align: center;">取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市立幼稚園において、市内保育園・幼稚園の保護者を対象に、ワークショップ形式の人権教育研修会を実施した。 ・市立小・中学校において、講演会形式での人権教育研修会を実施した。 ・特に、幼稚園での研修会では、人権教育推進協議会委員も参加し、グループの話し合いをサポートした。
人権啓発・教育の指導者リーダーの養成	事業の内容	事業概要
	学校、家庭、地域、職場、関係団体機関など、人権啓発・教育の中心となる指導者・リーダーの養成	<ul style="list-style-type: none"> ・学校、家庭、地域、職場などにおける人権啓発・教育のリーダーの養成 ・人権問題の正しい知識と理解などについての研修の実施 <p style="text-align: center;">取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権教育指導者養成講座を実施した。

<p>成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・人権教育指導者養成講座を、子育てと向き合う保・幼・小・中学校の保護者並びに各種団体及び地域で中心的立場の方々を対象に、開催することができた。 ・障害のある人・子ども・アイヌの人々・性同一性障害のある人等の人権問題について、正しい理解と人権意識の高揚が図れた。 ・幼稚園でのPTA人権教育研修会では、子どもの人権について、ワークショップ形式での分かりやすい研修となり、幼児虐待防止の意識を高めることができた。
<p>課題・方向性</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・指導者養成講座について、その時代・時期に応じた課題をテーマとした講座を開催するよう努力するとともに、講座の終了生が継続的に研修できるプログラムの企画・運営をしたり、すべての市民の人権が尊重される社会の実現のために、内容の工夫をより一層図ったりする必要がある。 ・小・中学校のPTA人権教育研修会では、一部を除いて参加率が十分なものではないので、研修内容・日程等工夫が必要である。 ・幼稚園でのPTA人権教育研修会の案内を市内各保育園にも送っているが、今年度も参加がなかった。
<p>自己評価</p>	<p>自己評価 B</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当初の人権教育推進協議会総会での計画に沿って人権教育を推進することができた。 ・それぞれの活動、研修において正しい理解、人権意識を高めることができ、参加者が主体的に関わる活動を実施することができた。

< 基本事業 > 男女共同参画社会の確立

【担当課】生涯学習課

男女共同参画促進のための事業推進	事業の内容	事業概要
	男女共同参画についての理解の促進	<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画社会についての研修の実施
		取組状況
		<ul style="list-style-type: none"> 各種講座において、男女共同参画の視点を取り入れた取組を実施した。

成果	「男の料理入門」など男女共同参画の視点を入れた公民館事業を行うとともに、市婦人協議会などへの支援も行った。
課題・方向性	公民館などにおいて、男女を問わず参加できる講座の充実など、今後も継続した取組が必要である。
自己評価	自己評価 B <ul style="list-style-type: none"> 家庭生活・地域社会における男女共同参画について、学びの機会を提供した。

基本方針 7 安心できる子育て支援の推進

< 基本事業 > 特別保育事業の充実

【担当課】こども未来課

	事業の内容	事業概要
子育て環境の整備・充実	多様な保育需要に応じた保育園における保育サービスの充実	<ul style="list-style-type: none"> ・未就園児を対象とした一時預かり事業の実施 ・日曜・祝日等における「休日保育」の実施 ・園児が病気の回復期であり、集団保育が困難な期間において保育する「病後児保育事業」の実施 ・保護者の多様化する就労形態に対応した延長保育事業の実施
		<p style="text-align: center;">取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公立保育所1園、私立保育所3園で一時預かり事業を実施した。 ・私立保育所1園で休日保育事業を実施した。 ・私立保育所1園で病後児保育事業を実施した。 ・市内全保育所において、通常保育時間の前後において延長保育事業を実施した。

成果	<ul style="list-style-type: none"> ・一時預かり事業は年間延べ1,546人の利用があった。 ・休日保育事業は年間延べ106人の利用があった。 ・病後児保育事業は年間延べ54人の利用があった。 ・延長保育事業は年間延べ3,995人の利用があった。
課題・方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・職員配置基準等の適切な事業の実施について園に指導するとともに、引き続き広報を行い、事業の推進を図る。
自己評価	<p>自己評価 A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・適正に実施することができた。

事業の内容		事業概要
子育て環境の整備・充実	質の高い保育提供体制の確保(浅口市子ども・子育て支援事業計画に基づき実施)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幼児期の教育・保育や子育て支援を一体的に実施することが可能な認定こども園への移行(公立) ・ 認定こども園の開園に向けた施設整備等(平成28年度から寄島幼稚園と寄島西保育園を統合し、認定こども園を開園) ・ 寄島幼稚園の余裕教室を使用し、寄島西保育園児(4・5歳児)の保育を実施
		取組状況
	子育て支援サービスの充実	<ul style="list-style-type: none"> ・ 寄島幼稚園と寄島西保育園をこども園に移行するため、必要な施設整備、先進自治体や園への視察を行った。またこども園に関する職員研修の実施や準備部会を設置し全体計画の作成を行った。市民に対しては、こども園の概要説明会を実施した。 ・ 六条院幼稚園に3歳児クラスを設置するため必要な施設整備を行った。市民に対しては、3歳児クラスの概要説明会を実施した。 ・ 金光学園幼稚園のこども園移行に伴う施設整備に対し、安心こども基金を活用した補助金を交付した。
		取組状況
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子育て支援情報の周知(市ホームページ、メール配信サービスなど) ・ つどいの広場や地域子育て支援センターの利用促進、事業内容の充実 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市HP内の「あさくち子育てサイト」やメール配信サービスの「あさくち子育て応援メールマガジン」、公民館などに設置した「あさくち子育て支援情報コーナー」を活用し子育て支援情報の周知をしている。 	

成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 寄島こども園の開園及び六条院幼稚園3歳児クラスの設置に伴う準備が整った。
----	--

課題・方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・浅口市子ども・子育て支援事業計画に記載のある、公立幼稚園のこども園への移行については、需給バランスや市民ニーズを勘案し進めて行く必要がある。
自己評価	<p>自己評価 B</p> <ul style="list-style-type: none"> ・浅口市子ども・子育て支援事業計画の計画通りに進めている。

< 基本事業 > 預かり保育、放課後児童健全育成事業の充実

【担当課】こども未来課

	事業の内容	事業概要
預かり保育の充実	保護者の就労等による降園後の園児に対する生活・遊びの場の提供と健全育成	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者ニーズを踏まえた預かり保育の実施形態・支援内容の検討 ・預かり保育幼児クラブの円滑な運営支援
		<p style="text-align: center;">取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・金光幼稚園・鴨方東幼稚園・六条院幼稚園預かり保育幼児クラブで早朝預かり保育を実施 ・鴨方東幼稚園及び六条院幼稚園預かり保育幼児クラブで土曜日預かり保育を実施
放課後児童クラブの充実	保護者の就労等による放課後や長期休業日等の児童の安全・安心な居場所の提供と健全育成	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後児童クラブの施設整備 ・放課後児童クラブの円滑な運営支援 ・放課後子ども総合プランに基づく放課後子供教室との一体型の推進 ・放課後児童クラブ支援員の資質向上のための研修会実施
		<p style="text-align: center;">取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・金光小学校区放課後児童クラブ施設増築工事 ・六条院小学校区放課後児童クラブ施設増築工事实施設計 ・鴨方東小学校内で一体型の放課後児童クラブ及び放課後子供教室を2回実施した。 ・放課後児童クラブ支援員の資質向上を図るための研修として、備中こどもサポーター育成講座を井笠管内の市町を会場として、全7回実施した。

成果	<ul style="list-style-type: none"> ・預かり保育事業について、保護者の利用ニーズを受けて降園後や長期休業日の預かり保育に加え、早朝や土曜日の預かり保育の実施拡大を行った。 ・寄島幼稚園のこども園への移行に伴う預かり保育の実施形態について検討を行い、寄島こども園で新たに一時預かり事業（幼稚園型）の実施を決定した。 ・利用児童数が多く狭小な放課後児童クラブの施設を整備し、受入児童数の拡充が図れた。
----	--

課題・方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・預かり保育事業について、幼稚園の今後の方向性を踏まえ、実施形態、実施内容を検討する必要がある。 ・放課後児童クラブへの登録希望児童に対応するため、クラブの量的拡大を図り、併せてサービスの質の維持・向上が図られるよう、計画的な施設整備や運営費の支援を行っていく。 ・放課後子供教室との一体型の推進を図るため、放課後児童クラブと放課後子供教室と連携していく。
自己評価	<p>自己評価 B</p> <ul style="list-style-type: none"> ・預かり保育幼児クラブ及び放課後児童クラブに対し円滑な運営支援を行った。 ・放課後児童クラブの施設及び運営に関し最低基準を常に向上させるよう努めていく必要がある。

< 基本事業 > 遊び・交流の場の整備・充実

【担当課】こども未来課

		事業の内容	事業概要
遊び・交流の場の整備・充実	子育て支援拠点施設の整備		<ul style="list-style-type: none"> 子育て家庭の居場所を確保するとともに、概ね3歳までの子どもが安全に遊び、親同士が交流できる場所となる子育て支援拠点施設の整備
			取組状況
			<ul style="list-style-type: none"> 平成29年度実施に向けて、実施場所等を含む検討・協議を行った。
	子どもを育む体験の場と交流の場の充実		
取組状況			
<ul style="list-style-type: none"> 各公民館における週末の体験活動として地域のボランティアの方々が講師となり、15講座の教室を開催した。 鴨方東小学校にて一体型の放課後児童クラブ・放課後子供教室を2回実施、地域のスポーツ推進委員を講師に迎え、ニュースポーツ体験活動をした。 			

成果	<ul style="list-style-type: none"> 子育て支援拠点施設の整備について、新規建設は予算確保が困難であるため協議の結果、実施を見送る方針となった。 関係各課が連携し、地域で子どもを育む取組ができた。
課題・方向性	<ul style="list-style-type: none"> 既存の子育て支援拠点施設の内容の充実等を図っていく。 関係各課がより連携を深め、継続した取組ができるよう努める。
自己評価	<p>自己評価 B</p> <ul style="list-style-type: none"> 新規拠点施設建設に向けて検討・協議を行ったが、予算確保が困難であり実施に至らなかった。既存施設の整備等、今後も方向性の検討が必要である。 学校、地域人材と連携した取組ができた。 <p>今後も継続し、より一層の充実した取組を進めていきたい。</p>

浅口市教育委員会評価委員の総合評価（平成27年度事業分）

評価委員 金光 英子

1 目標・組織・会議等

浅口市の教育行政の基本方針は、高邁で格調の高いものである。健やかな心を育む教育環境の整備の推進をする事は、望ましいことである。教育委員会の活動状況は、定例会はじめ学校訪問や、各種会議への出席など、適切に行われていると思う。

浅口市総合計画の「豊かな心、広い視野、地域文化を育むまち」「健やかさがはじけ、笑顔がひろがるまち」を目指すのはすばらしい。そのためには、都会へ進学、就職した人々が育った地域を愛し、遊学中もしばしば帰り、ゆくゆくはこの地に住んで文化交流・国際交流・文化の創造を担う人材育成が必要となるのではないかと思う。

2 学校教育課

浅口市学力向上 NO1 プロジェクト推進委員会の取り組みが、「学力向上フォーラム」として実を結んだのは評価に値する。さらに、学習時間の確保や基本的生活習慣の育成など、岡山県との事業連携した取り組みを展開したことは評価できる。体験学習のなかでも職場体験を3中学校が行ったことは評価できる。しかし、ある中学では、毎週数時間同じ職場に出向かせる職場体験を行っているという。郷土のすぐれた職業人との交流のなかで、キャリア教育を進めながら、郷土愛をも育て何年かのちには、地域の人材になるという壮大な計画である。職場体験も改善の余地があると思う。

特別支援教育は、様々な問題山積みの中でも教職員の配置や生活支援員の配置などよい働きができていると思う。

3 教育総務課

学校施設の整備については、耐震補強工事、学校給食センターの建設やエアコンの設置など、充実したのは望ましい。

4 生涯学習課

青少年育成事業の「夏 GAKU サプリ」は、良い取組みなのでもっと展開できるようなものを企画し、参加者の増加を図ってはどうか。また、図書館活動の推進に力を入れたのは良いと思う。

スポーツ活動の振興については、施設の整備も進み体育協会やスポーツ少年団などの各種団体との連携、協力が図られており、市民への広報も浸透しているようである。生涯学習の推進、公民館、社会教育団体、青少年団体、人権教育などは、概ね適正に運営されていると思う。

公民館・博物館・資料館が、生涯学習の場として様々な活動をしているのは、評価に値

する。市民のニーズに応じた各種講座もなされているようだ。さらに、団塊の世代の人々に参加するのみならず、教える側に立つ講師として活躍してもらってはどうかと思う。

5 文化振興課

浅口市指定天然記念物の「安倉八幡の大樟」の保全、「鴨方町民謡」テープのデジタル化など、懸案事項に取り組み改善されてきているのは評価に値する。また、かもがた町家公園・岡山天文博物館では、特色を活かした運営がなされていると思う。

この活動と同じように、金光や寄島の歴史民俗資料館でも、活動が各地域、各年齢を対象にしたものに、広がることを望む。せっかくの展示が、一部の好事家にとどまらず、例えば、市内全域の方々に参加しやすい場所に出向いたり、他のイベントと連携したり、巡回展示を開催するなどの工夫が期待される。

6 こども未来課

幼児教育・保育は、将来の社会を決定するといわれるほど重要である。多様な保育需要に応えて、休日保育・病後児保育・延長保育などが実施されているのはすばらしいと思う。市民ニーズを的確に把握し、さらなる充実を望む。

7 総合評価

教育委員会の運営状況は、概ね適切に執行されていると思う。

全体として教育行政重点目標の立て方もよく、取り組み方もよいので、それなりの成果が上がっていると思う。成果があるので、さらなる課題や方向性も見極められ次なる施策の策定が立てやすくなっていると思う。

浅口市文化協会は、会員数が減少しているという。文化の底上げのためにも、会員増加に力をいれてほしい。さらに、会員による子どもたちとのふれあいを増やし、学校や社会教育団体と連携し人材の育成につなげてはどうかと思う。

1 目標・組織・会議等

「教育委員会の活動状況」については、定例会・臨時会と開催され、教育行政の方向性や喫緊の教育課題への対応についての協議・規則の制定等適切な対応がなされている。

今後、浅口市の教育行政の継続性と発展性のため、教育目標・教育行政基本方針の体系の整合性を図るとともに、浅口市の教育行政全般の課題や方向性を明確にして、具体的な目標を設定し、教育行政基本方針のもとに指導・支援を一層推進していただきたい。

「教育委員会が管理・執行する事務」については、将来の市の人材育成のためにも、予算を確保して地域の継続・発展する事業の充実が大切である。

2 学校教育課

健やかな心を育む学校教育の充実を目指して、学力の向上、心の教育、体育・健康教育、人権教育、特別支援教育、教職員の適正な配置と人事管理の視点をもとにして各学校・園の教育活動への支援により充実が図られている。

学力・学習状況の改善にむけては、学力向上 No1 プロジェクト事業として、学習時間の確保、教師の生徒（生活）指導・学習指導への指導力向上に向けて研修会実施・小中連携等の取組がなされている。

3 教育総務課

学校教育施設の安全を確保するために、耐震化工事を完了することができた。緊急避難場所でもあることから大切である

4 生涯学習課

豊かな人生を育む生涯学習の充実を目指して、学習機会の拡充や学習内容の充実学習活動や地域活動の拠点となる施設の整備がなされた。今後、充実した豊かな生涯を過ごしたい現在の住民・将来の住民に求められる学習機会・学習内容や施設の整備を一層図る必要がある。

スポーツ活動の振興では、生涯健康な体をできるだけ維持できるような学習機会や設備も求められている。

5 文化振興課

文化の薫る地域の振興を目指して、歴史・文化的資源の保全・活用が適切になされた。

また、文化施設の整備充実では、町家公園における特色ある維持管理、天文博物館の展示更新や阿藤伯海先生の顕彰事業がなされた。

グローバルな感性を育む国際交流・理解では、姉妹都市との交流がされた。以前よりは地域への広がりが少なくなっている。

6 こども未来課

安心できる子育て支援の充実をめざして、子どもを保護する事業が人的や物的と多岐にわたって行われた。今回の報告では、幼児期の教育についての主管課が明確でないので、施設・体制だけでなく、就学前教育の内容・方向性を具体的に示す必要を感じた。

7 総合評価

報告書では、目標をもとに適切な評価がなされ将来へ向けての教育行政の課題や方向性も示されている。様々な事業が計画立案・実施されているが、第三者として評価する時に、目標を数値化しての評価や予算措置と関連しての評価を、A・Bと評価してあれば、第三者が評価する場合評価できやすく感じた。

評価委員 佐藤 賢次

1 目標・組織・会議等

中・長期的な教育課題の解決に向けた教育行政の基本方針が確立されており、それに基づいた基本事業が構成され、より具体的な事業が網羅的、総合的に取り組まれている点は高く評価できる。願わくは、重点事業として、浅口市の教育の特色を示す最重要な事業などが何点か盛り込まれ、展開されることを望む。

教育委員が学校園に訪問しての授業参観や教職員・児童生徒との意見交換、教育関係行事への積極的な参加など、教育現場を大切にする姿勢に敬意を表す。また、教育委員会議や総合教育会議がより一層機能し、今後の教育行政に反映されることを期待する。

2 学校教育課

確かな学力の向上の重要性から、多様な人員の配置、教職員の指導力向上を図る研究・研修会の開催など、多面的、総合的に取り組んでおり、教育委員会の意気込みが感じられる。また、学力向上の推進において、学力No.1プロジェクト事業をはじめ、放課後学習サポート事業、学校間・家庭・地域との連携等により、年々成果が上がっていることを高く評価する。

学校支援地域本部事業は、社会全体で子どもたちの教育に取り組む施策として非常に意義のある事業と考えるが、それを効果的に推進していくためには、学校と地域を結ぶ調整役としてのコーディネーターが重要であり、人材発掘や研修による人材育成などの取り組みを期待する。

時代の進展に対応した教育として重要なICT教育においては、ハード面の充実とともに、授業での効果的な活用に向けた取り組みを推進している点を評価する。加えて、情報モラルの指導ができる教職員を増やし、いじめや不登校につながらないネットやスマホの使い方ができる児童生徒を育てていく取り組みが求められていると考える。

3 教育総務課

学校園の安全・安心な環境整備は保護者の大きな関心事であり、幼稚園、小学校、中学校の耐震化率100%の実現は高く評価できる。

また、子どもたちの安全を第一にしながら、緊急性や優先度の高い施設・設備の改修、充実を図っていることは大変好ましい方策であり、今後も続けていただきたい。

4 生涯学習課

公民館や図書館との連携も図りながら多種多様な学習機会を提供するとともに、発表会など学びの成果を生かせる機会が充実している点を評価する。さらに一歩進めて、例えば、

講座修了者を生涯学習の講師情報として提供するなど、学んだ人が地域で活躍できる仕組みがあれば、受講生の増加が期待でき、以て地域の活性化にもつながるのではないかと考える。

地域の教育力を生かした学校支援の活動については成果も上がり、素晴らしいことだが、今後は、学校と地域を結ぶ調整役としてのコーディネーターの発掘や育成などの取り組みが必要ではないかと考える。

体育協会や各種スポーツ団体との連携により、スポーツ活動の活性化、指導者の養成などに大きな成果を上げており、引き続き市民が親しめる生涯スポーツの普及・推進の取り組みを期待する。

5 文化振興課

かもがた町家公園や岡山天文博物館の事業では、入園・入館者数が増加という成果にも表れているように、継続、新規を問わず多彩な取り組みがなされている点を高く評価する。とりわけ、「天文のまち浅口」を全国に発信したことは大変意義深く、今後もこれをキャッチフレーズに、地域が一層盛り上がる取り組みを期待する。

文化連盟や文化協会の自主的な活動を適切に支援し、さらに学校との連携により、文化芸術活動の発展に大きな成果を上げていることは素晴らしいと考える。

浅口市の歴史を伝える文化財の保護・保全については、地道な作業・活動も含め、適切かつ積極的に取り組まれていることを高く評価する。文化財の活用面で課題を挙げておられますが、歴史文化を生かした地域づくりのきっかけにもなるよう、その具体的な解決策を期待する。

6 こども未来課

特別保育事業については、多様な親のニーズに応じた取り組みがなされ、保育サービスの充実が図られたと考える。

幼稚園と保育園を統合した形態のこども園については、両園出身の子どもの心情を大切にしながら中身を充実していく取り組みを期待する。

7 総合評価

全体的には、確立された基本方針の体系に基づいて、各事業が計画的・積極的に取り組みられ、概ね良好な成果を上げており、いずれも適正な自己評価がなされていると考える。ただ、「取組状況」や「成果」の中で、強調したい点や教育効果・取組成果の高かった点については、数値化、図表化、グラフ化することにより、説得力を増し分かりやすい表現にしたらと考える。

また、今後に向けての課題や方向性も適切に示されているので、市民に応える教育行政としての計画 - 実行 - 評価 - 改善のサイクルが一層機能し、今後の施策の重点化や改善等に資するよう期待したい。

【資料1】 平成27年度 園児・児童・生徒数（5月1日現在）

種別	学校名	区分	1年 (0歳児)	2年 (1歳児)	3年 (2歳児)	4年 (3歳児)	5年 (4歳児)	6年 (5歳児)	計
保育園	寄島西	園児数	4	13	12	16	13	7	65
		学級数	***	***	***	***	***	***	***
	竜南	園児数	4	6	11	9	11	7	48
		学級数	***	***	***	***	***	***	***
	合計	園児数	8	19	23	25	24	14	113
		学級数	***	***	***	***	***	***	***
幼稚園	金光	園児数	***	***	***	***	32	45	77
		学級数	***	***	***	***	2	2	4
	鴨方東	園児数	***	***	***	***	34	31	65
		学級数	***	***	***	***	2	1	3
	鴨方西	園児数	***	***	***	***	17	25	42
		学級数	***	***	***	***	1	1	2
	六条院	園児数	***	***	***	***	35	31	66
		学級数	***	***	***	***	2	1	3
	寄島	園児数	***	***	***	***	10	16	26
		学級数	***	***	***	***	1	1	2
	合計	園児数	***	***	***	***	128	148	276
		学級数	***	***	***	***	8	6	14
小学校	金光竹	児童数	9	7	7	9	13	17	62
		学級数	1	1	1	1	1	1	6
	金光	児童数	55	51	62	61	61	55	345
		学級数	2	2	2	2	2	2	12
	金光吉備	児童数	39	23	32	31	45	26	196
		学級数	2	1	1	1	2	1	8
	鴨方東	児童数	51	69	58	66	57	63	364
		学級数	2	2	2	2	2	2	12
	鴨方西	児童数	25	23	29	23	40	30	170
		学級数	1	1	1	1	1	1	6
	六条院	児童数	58	62	66	66	62	66	380
		学級数	2	2	2	2	2	2	12
	寄島	児童数	34	29	31	29	42	40	205
		学級数	1	1	1	1	2	1	7
合計	児童数	271	264	285	285	320	297	1,722	
	学級数	11	10	10	10	12	10	63	
中学校	金光	生徒数	79	91	106	***	***	***	276
		学級数	2	3	3	***	***	***	8
	鴨方	生徒数	140	140	152	***	***	***	432
		学級数	4	4	5	***	***	***	13
	寄島	生徒数	34	39	44	***	***	***	117
		学級数	1	1	2	***	***	***	4
	合計	生徒数	253	270	302	***	***	***	825
		学級数	7	8	10	***	***	***	25

【資料2】 平成27年度 学校・園及び教職員の研修一覧

1 市研究指定校について

	指定期間	研究指定事業名	教科・領域	指定校名	指定区分	発表会等期日
1	平成27年度	実践的防災教育総合支援事業		寄島小 寄島中	県教委	
2	平成27 ～28年度	魅力ある授業づくり徹底事業	授業改善	金光吉備小 鴨方西小	県教委	
3	平成26 ～27年度	小教研浅口支会指定	算数科	鴨方東小	小教研 浅口支会	H27.10.28
4	平成27 ～28年度	中教研浅口支会指定		金光中	中教研 浅口支会	
5	平成27年度	中体連県指定	保健体育科	鴨方中	中体連 県指定	H27.11.20

2 公開（研修）講座会場校

	指定期間	研究指定事業名	教科・領域	指定校名	指定区分	公開期日
1	平成27年度	生徒指導重点課題研修講座		寄島中	県総合教育センター	H27.6.17
2	平成27年度	小学校算数研修講座	算数科	鴨方東小	県総合教育センター	H27.10.28

3 教職員研修

	研修名	対象校(園)	対象者	希望・悉皆別	開催日	日数	備考
1	乳幼児期の教育・保育研修会	幼稚園・保育園 (私立含む)	教職員・保育士全員	希望者	H27.6.22	1	市 37名参加
2	先進地視察研修 (認定こども園)	幼稚園・保育園	教職員・保育士全員	希望者	H27.7.6	1	市 13名参加
3	平成27年度浅口市教職員全員研修会	幼稚園・小学校・中学校	教職員全員	悉皆 (選択制)	H27.7.28 H27.8.7 H27.8.11 H27.8.20 H27.8.25	5	市
4	若手教員パワーアップ研修講座	小学校・中学校	若手教職員等	希望者	H27.7.28	1	市・井原市・里庄町・矢掛町・早島町
5	認定こども園研修会	幼稚園・保育園	教職員・保育士全員	希望者	H27.8.3	1	市 34名参加
6	就学前教育・保育研修会	幼稚園・保育園 (私立含む)	教職員・保育士全員	希望者	H27.8.17	1	市 40名参加

7	園内研修会 (鴨方東幼稚園)	幼稚園	教職員	希望者	H27.10.20	1	市・里庄町
8	就学前教育と 小学校教育の 接続研修会	幼稚園・保育園 (私立含む) ・小学校	教職員・保 育士全員	希望者	H27.12.25	1	市 60名参加
9	園内研究会 (鴨方西幼稚園)	幼稚園	教職員	希望者	H28.1.26	1	市・里庄町
10	学力向上フォーラム	幼稚園・小学 校・中学校	教職員全員 一般	希望者	H28.1.8	1	市

【資料3】 平成27年度 教育委員会関係施設等の利用者数等一覧

平成27年4月1日～平成28年3月31日

所管課・室	施設名	利用者数	備考
生涯学習課	中央公民館	43,229 人	
	鴨方図書館	106,751 冊	蔵書数 136,926 冊
	天草公園	74,433 人	
	プラザ	26,013 人	
	B & G 海洋センター	10,154 人	
文化振興課	岡山天文博物館	12,718 人	
	かもがた町家公園	34,570 人	伝承館:2,057 人
	阿藤伯海記念公園	2,813 人	
	鴨方郷土資料館		データなし
金光分室	金光公民館	37,186 人	
	金光歴史民俗資料館		
	金光さつき図書館	63,785 冊	蔵書数 47,545 冊
	遙照山総合公園	3,737 人	
	金光駅西公園	16,719 人	
	金光スポーツ公園	29,351 人	
寄島分室	寄島公民館	9,418 人	
	寄島図書館	24,160 冊	蔵書数 19,949 冊
	ふれあい交流館サンパレア	21,052 人	
	B & G 海洋センター	19,123 人	
	寄島郷土資料館	人	データなし
	三ツ山スポーツ公園	56,898 人	
	寄島コミュニティーセンター	3,985 人	
	寄島運動場	5,673 人	
	寄島東体育館	1,701 人	
	寄島武道館	3,912 人	
	寄島テニスコート	3,436 人	
	フットサル場	16,682 人	
	寄島東公民館	6,326 人	
	寄島東部グラウンド	5,571 人	

【資料4】 平成27年度 生涯学習・社会教育事業及び公民館事業の実績

【生涯学習課及び分室】

事業名		期間回数	対象	事業内容	開催日・実績・内容・評価
生涯学習推進事業	漢字検定	年3回	市民一般	日本漢字能力検定協会準会場	6/13 37人 10/31 49人 1/30 25人 金光公民館にて実施
	市民学級	年7回	市民一般	料理・防災・移動学習等	74人参加申込 5月「開講式・岡山弁再発見」 7月「体温の伝わるコミュニケーションをめざして」 8月「災害が起こったときにあなたが支援できること」 10月「視察研修 しまなみ海道の工場見学」 12月「和食」 1月「手作りこんにやく」 2月「ゆる体操とゆる文字・閉講式」
	老人大学（金光、寄島地区） 天草学級（鴨方地区）	年7回程度×3公民館	概ね65歳以上の市民	趣味、教養、健康体操、レクリエーションなど	金光41人、鴨方67人、寄島70人 各館7回程度のバラエティに富んだ講座を開催
家庭教育関係事業	家庭教育支援事業「親力アップ！子育ていきいき塾」	8回	保護者教職員	子育てやしつけなど家庭教育の在り方を見つめ直す研修会	学童期子育て講座・就学時健診等を利用した子育て講座 市内7小学校にて実施
	家庭教育学級	年2回	幼・小とその保護者	親子ふれあい事業	7/24 ウミホテルを見に行こう 11/1 ふれあい移動動物園
青少年育成事業	成人式	1月10日	新成人	式典 実行委員会による立食パーティー	1/10 ふれあい交流館サンパレア 対象者321人 出席者数258人
	備中地域青少年相談員連絡会井笠地区 青少年育成活動協議会研修会合同研修会	3月12日	青少年相談員協議会委員	親や地域の青少年に携わる大人に対して、現代社会における課題についての研修	健康福祉センター多目的ホールにて開催 ・明るい家庭づくり優秀作文の発表 ・講演「ここ一番で私が実力を発揮できた理由」 講師 小林祐梨子氏

	子ども週末体験活動 (放課後子ども教室推進事業)	年間 週末 × 3 公民館	幼小中	体験活動	ウィークエンドわくどき体験 中央公民館7講座143人参加 金光さつきっ子教室 金光公民館5講座103人参加 三つ山っ子教室 寄島公民館3講座42参加 国県補助 260千円
	夏 G A K U サプリ in 公民館	8月 3公民館	小中	学習講座	中央公民館 5日間37教室のべ827人参加 金光公民館 4日間21教室のべ728人参加 寄島公民館 3日間13教室のべ130人参加
	みんな集まれ あさくちっ子わく どき体験	期間限定	幼小中	自然体験・体験活動	夏休み期間中(金光分4講座)和紙で絵を描こう・かえってくる? プーメラン!・夏の図書館こどもまつり・ぬいぐるみのおとまりかい 冬休み期間中(金光分2講座)親子で年越しそば打ち・たのしいクリスマス会
	少年少女合唱団ひまわり	年間	市内小学生	月2回	団員14名 毎月第1・3日曜日 10:00~11:30 浅口音楽フェスティバルをはじめ、年間3回程度発表会に出演 第9回ひまわりコンサートも開催した
	浅口市青少年育成指導員連絡協議会	年間	指導員	定例補導・特別補導・列車補導	定例補導: 月3回 特別補導: 年5回 列車補導: 年6回
人権教育推進事業	人権教育指導者養成講座	年7回	受講申込者	講義・視察研修	92人 6月開講式、12月閉講式 月1回のペースで人権問題の正しい知識と理解等について学習した 10月視察研修(岡山市 児童養護施設 若松園)
	P T A 人権教育研修会	小・中学校 各1回	PTA会員	講演会	市内7小学校、3中学校においてP T A 対象に実施
	幼稚園 P T A 人権教育研修会	各園	PTA会員	ワークショップ	各園90%以上の出席 10月六幼、11月鴨東幼・鴨西幼、1月金幼・

					寄幼(人権教育推進協議会委員のサポーターと共に小グループで学習した)
学社融合	学校支援地域本部事業 (人材派遣育成事業)	年間	市内幼・小・中	学校からの要請に応じて支援者の派遣	各学校からの要請に応じて支援者を派遣
スポーツ振興事業	総合型地域スポーツクラブ 育成支援事業	通年	市民一般		NPO法人あさくちスポーツクラブの活動を支援 入会の受付事務及び各教室の参加受付窓口等
	スポーツ少年団 育成支援事業	通年	スポーツ少年団	4月入団式 12月スポーツテスト交流大会	入団式及び、スポーツテスト交流大会を通じて団員及び指導者相互の親睦を図る
	市民体育祭	5・9・10月	市民一般	旧町毎に実施	金光大会 約1,600人 鴨方大会 約2,000人 寄島大会 約 800人
	浅口市マラソン大会	12月・1回	市民一般		参加者数1,033人
	ナイターソフトボール大会	5・6月	市民一般		10チーム約150人参加
	リレーソフトボール大会	7月26日	市民一般		参加チームのリレーにより長時間の試合を行う
	体力テスト交歓大会	12月・1回	スポ少団員		100人
	アクアビクス教室 (寄島)	6月より 10回	大人	アクアビクス	11人
	ナイターペタンク大会	7月4日	市民一般	ペタンク	36チーム 75人
	海洋クラブ	4~9、3月 毎週土曜日	児童・生徒	カヌー・ヨット等の海洋性レクリエーション	19人 7月県大会(OPヨット、高校生の部優勝)
	フットサル大会	5月、10月	大人, 親子	フットサルの勝抜き大会	第16回 24チーム264人 第17回 19チーム197人
	フットサルリーグ	5月~7月	大人	フットサルのリーグ戦	参加チーム少数のため開催せず
	アクアビクス教室 (鴨方)	5月~8月・ 12回	大人	アクアビクス	参加者22人

幼児水泳教室	5・6・ 7月・5 回	幼稚園児	幼稚園児対象の水泳 教室	参加者19人
児童水泳教室	5 ~ 7 月・5回	児童	水泳が苦手な子向け	参加者49人
水泳指導者養成教 室	5月・1 回	大人	児童水泳教室講師育 成	参加者 6人

【公民館講座】

事業名		期間・回数	対象	事業内容	開催日・実績・内容
浅口市中央公民館	ゼロから始める暮らしのペン・筆ペン習字	第2・4土曜日	市内 在住 在勤 在学		受講生26人 ペン・筆ペン習字を基礎から学ぶ
	楽しい手編み	第2・4火曜日			受講生 12 人 初心者のための編み物講座
	楽しい中国語	毎週日曜日			受講生 16 人 日常会話の基礎や中国の習慣などを学ぶ
	楽しい陶芸	第1火曜日			受講生8人 土の手触りを楽しみながら器などを作る
	基礎から学べる詩吟	第1・3火曜日			受講生 17 人 姿勢や発声を学びながら詩歌吟詠のすばらしさを体験する
	やさしい水墨画	第1・3金曜日			受講生 13 人 構図の基本や墨の濃淡など基本技術から作品製作までを学ぶ
	やさしい書道	第2・4日曜日			受講生 11 人 かい書、行書の基本を学習し、書に親しむ心を大切に、書く喜びを楽しむ
	楽しい韓国語	毎週木曜日			受講生 14 人 読み・書き・話すといったコミュニケーション全般を基礎から学ぶ
	手打ちそば入門	第2・4日曜日			受講生 13 人 コネ・延ばし・そば切りなどの行程を学ぶ
金光公民館	庭木の手入れ入門	第4土曜日	市内 在住 在勤 在学		受講生 27 人 剪定の仕方、農薬の使い方を学び丸山公園などでの実施講習
	絵手紙入門	第4木曜日			受講生 18 人 初心者の方から自分の個性を生かした作品づくり
	英会話入門	第2・第4火曜日			受講生 22 人 初歩からの英会話を学ぶ
	男の料理入門	第2日曜日			受講生 20 人 ご飯の炊き方から味噌汁、煮物の料理までを学ぶ
	木工入門	第2・4金曜日 第2・4土曜日			受講生 13 人 お皿やお盆、いろいろな作品にチャレンジ
	韓国料理入門	第4金曜日			受講生 9 人 チョンマルマシッタ本当に美味しい韓国料理を！
	お菓子作り入門	第4土曜日			受講生 15 人 ちょっとした工夫でカロリー控えめのお菓子づくり

	簡単ランチとスイーツ入門	第4日曜日		受講生 23人 簡単なランチとスイーツの作り方を学ぶ
	アロマのある暮らし	第2土曜日		受講生 14人 アロマを生活の中に取り入れて活用する方法を楽しみながら学ぶ
金光公民館短期講座	広島・小手島トレッキング	4月8日		受講生 35人
	夏野菜で簡単つけものを作ろう	8月2日		受講生 15人
	アロマとハーブの手ごねせっけん	8月8日		受講生 9人
	秋の紅葉ウォーキング	10月10日		受講生 20人
	お正月の寄せ植え	12月26日		受講生 14人
	年末恒例！年越しそば打ち	12月27日		受講生 9人
	金光おこわづくり	3月15日		受講生 23人
寄島公民館	ガーデニング	第3金曜日	市内 在住 在勤 在学	受講生 18人
	ヨガ	第2水曜日		受講生 29人
	手話	第2・4木曜日		受講生 14人
	パステルアート	第1金曜日		受講生 3人

【文化振興課及び分室】

	事業名	期間回数	対象	事業内容	開催日・実績・内容
文化・芸術関係事業	古文書同好会	年10回	市民一般	近世、近代の興味ある史料にふれる	第2日曜日13:30～ 16人
	あさくち歴史講座	年1回	市民一般	浅口の歴史学習	2/27 阿藤伯海を生涯の師と仰ぐ愛弟子を中心に幅広い交際とエピソードを紹介 60人
	竹林寺天文台遺跡現地説明会	年1回	市民一般	左記遺跡の発掘調査成果の説明会	12/12 100人
	総合文化祭	年1回	一般	市民による芸術文化の発表	10/24,25(寄島は10/31,11/1) 金光会場 展示発表・芸能発表 約1,500人来場 鴨方会場 展示発表・芸能発表 約1,600人来場 寄島会場 展示発表・芸能発表 約1,400人来場
	金光遙照太鼓教室	年間	市内小・中学生	郷土の文化伝承	5～3月の間、毎週火曜日の夜を中心に活動をした。第14回金光キッズフェスティバルへ出演 受講者数22人
	金光キッズフェスティバル	12月	金光地区園児小・中学生	学校・公民館・地域での学習成果の発表	12/20 金光公民館大ホール・各部屋で舞台の部13団体、展示の部25団体が出演・展示し、6つの体験コーナーなど多くの来館者(約1,000人)があった。
国際交流事業	青少年海外派遣事業(オーストラリア)	1回	市内青少年	友好提携都市への青少年の派遣	8/2～8/11 中学生15人 引率2人を派遣。ティーツリーガリー市ほか
	海外青少年受入事業(オーストラリア)	1回	市内青少年	友好提携都市の青少年の受入	豪州10/1～10/5 教師2人、生徒6人 市内見学、鴨方中学校交流訪問、ホームステイなど

	友好交流	高安市 1回 宜春市 1回	一般	政府訪問団の受入	4/27、28 高安市政府訪問団6人が市長を表敬訪問。仮調印式、市内施設見学など 1/8 宜春市政府訪問団7人が市長を表敬訪問。市内施設、企業見学など
		豪州 1回 中国 1回		友好都市を訪問	8/2～8/7 市長、ティーツリーガリー市訪問。モデブリー高校、市内施設見学など 10/26～10/30 市長他3名高安市、宜春市、江西省訪問。調印式、施設、企業見学など
	中学生英語スピーチコンテスト	年1回	市内在住 学中学生	中学生の英語スピーチコンテスト	11/19 創作の部 9組9人、 暗唱の部 13組17人 計22組26人が出場
天文博物館事業	宇宙 自然講座	年2回	一般	天文及び自然科学分野に関する一般講座	11/8「クォークからなるハドロン その多様な世界」 12/19「美星スペースガードセンターと 小惑星探査機『はやぶさ2』」 計100人
	ちびっこ ぶらねたりうむ	毎月2回 水曜日と 土曜日	乳幼児と保 護者	こども向けプラネタリウム 投影とお話会。投影中も出入り自由	毎月水曜日と土曜日に各1回、 計24回開催。のべ350人が参加
	かがく広場	年6回	小学生	身近なものを使った実験や 工作を通して科学の不思議を学ぶ。	5/24「マイカメラを作ろう」ほか 6/28「スライム時計」 10/11「ニボシの解剖」 11/29「レインボーキャンドル」 1/24「カルメ焼き」 2/28「クリップモーター」 のべ100人
	望遠鏡を作ろう！		一般	望遠鏡キットを使って望遠鏡作り	4/25、8/23、11/21 計50人
	七夕企画「ほんの少し星に近いところからあなたの伝えたい想いを叶えます」			メッセージを預かって星の パワーを込め、七夕に間に合うように郵送する。	6/13～8/16 計70人

3.8m新望遠鏡見学ツアー	年間	入館者（主にプラネタリウム観覧者）	プラネタリウム観覧後、希望者を対象に仮設テント内の望遠鏡を見学するツアーを実施。	6月以降 回数100回、人数のべ1,800人
天文台のまちあさくち PR事業	12月～	一般	スマホやタブレットを使って楽しむ展示の導入。	バーチャルで3.8m新望遠鏡と天文台の操作を楽しめる展示。 既存展示の説明をWebコンテンツで見られる展示
	3月～	一般	タッチパネル式で天文クイズや宇宙旅行を体験	初級から上級までコースを選んでクイズに挑戦 惑星めぐりや宇宙の果てまで、好きな宇宙旅行が楽しめる
	11/29～ 2/29	一般	CM番組の制作と東京での放映	30秒のCM番組を制作し、3ヶ月間東京スカイツリー内のプラネタリウム館で毎日放映。観覧者数107,623人
	12月～	一般	定点カメラを通して3.8m新望遠鏡を観察。	ツアーに参加できない来館者がモニターを通じてドーム内の様子を見ることができる
	3月～	一般	オリジナルプラネタリウム番組の制作	50年前の天文台設置から天文台のまちの歴史を辿る番組。3月公開、全国の希望する館で放映
	3月	一般	モニュメントの設置	星と望遠鏡をイメージし、願いが叶った逸話にも配慮したモニュメントを設置
	3月	一般	キャラクター	博物館のキャラクターを公募。3作品を採用。一部はタッチパネルに利用
	年4回	一般	望遠鏡の使い方の説明 季節の星座の観望	4/4「皆既月食を見よう！」 8/8「夏の観望会～土星をみよう」 12/12「ふたご座流星群」 2/13「カノープスをみよう」 計のべ200人
国立天文台岡山天体物理観測所 特別公開	8月末の土曜日	一般	博物館が共催 博物館では子ども向けのイベントを実施	8/29 310人の来場者
国立天文台岡山天体物理観測所 特別夜間観望会	秋、春は中止	一般	博物館が共催 プラネタリウム室で天体・星座紹介及び15cm屈折望遠鏡にて観望	4/11, 11/3 計240人

	プラネタリウムコンサート	年1回	一般	星空解説と生演奏	7/4 60人
	天文博物館友の会活動	随時	一般		例会：毎月第2土曜日 施設見学会、観望会等積極的な活動を続けている
	クリスマス プラネタリウム		一般	プラネタリウム室でクリスマスにまつわる星のお話	12/20, 23 計70人
	展示企画展	1回	一般	企画展「飛び出る宇宙・地球3D展」	7/18～8/30 4,000人（来館者）
かもがた町家公園事業	町家塾	年間	市内小学1～6年生	郷土の文化伝承	6/6 端午の節句（柏餅づくり、映画会） 88人 7/4 真田組み・昔話 58人 8/29 七夕会（短冊書き、素麺流し、映画会） 79人 9/19 ムクロジとハスの葉の不思議・昔話 48人 10/24 火起こしと勾玉作り 43人 11/21 鴨山巡り 36人 12/12 羽子板作り・昔話 40人 1/23 七草がゆを食べよう 60人 2/20 粘土細工・昔話 34人 3/26 雛祭り（よもぎ団子作り） 113人
	町家公園茶会	年3回	一般	かもがた町家管理組合文化部による茶会	6/14 273人 9/23 観月茶会 348人 2/7 200人
	昔の道具展	年1回	一般	昔の道具を展示	5/3～5/5 301人
	昔体験	年1回	市民一般	子どもたちを対象とした昔体験	5/3 せんべい作り・なわない・おかご乗り体験・ねこ車体験 207人 5/4 せんべい作り 101人 5/5 きな粉作り・火起こし体験と竹筒炊飯 146人 5/3～5/5 昔の道具展&道具当てクイズ 301人 琴の演奏体験 71人

	町家でむかしむかし	年1回	市民一般	地域に伝わる昔話を聞き、歴史や伝統文化について享受する。	3/13 30人
	まちや投扇興体験会	年1回	市民一般	江戸時代の遊びである投扇興の体験講座	10/31 33人
	季節の行事企画展	年間	一般	節句等の伝統的年中行事の企画展示	4~5月 五月人形展示 年末年始 門松・正月飾り 2~3月 雛人形展示
	菊の展示会	年1回	一般	旧暦の重陽の節句に合わせた菊の展示	10/27~11/10
	とんど焼き体験	年1回	市民一般	伝統行事であるとんど焼き体験	1/11 129人
	まちや寄席	年1回	市民一般	岡山大学落語研究会による寄席	1/31 63人
	町家スプリングコンサート	年1回	一般	町家で聴くクラシックコンサート	3/6 100人
	町家でむかしむかし	年1回	市民一般	地域に伝わる昔話を聞き、歴史や伝統文化について享受する	3/13 30人
阿藤伯海公園事業	所蔵作品展	年間	一般	阿藤伯海先生等の資料展示	阿藤伯海先生や郷土先人に関する資料の常設展示
	阿藤公園茶会	年1回	一般	大賀蓮の開花にあわせた茶会	7/26 蓮見茶会 170人
	論語かるた大会	年1回	小学生	小学生対象のかるた大会	1/30 21人
資料館事業	鴨方郷土資料館	年間	一般	郷土資料の常設展示	郷土先人の絵画資料、考古資料、麦稈真田や製麺製造関連の民俗資料の展示
	金光歴史民俗資料館企画展・特別展	年各1回	一般	郷土資料の特別展示	10/24~11/29 浅口の今昔写真展 2/2~2/14 浅口の今昔写真展 巡回展(中央公民館) 2/17~2/27 浅口の今昔写真展 巡回展(寄島図書館)